

**8 時間の動画**で身につく

# デジタル中学英文法

全単元のポイントをYouTubeの動画で解説！  
復習や予習のポイントもテキスト内のリンクでバッチリ。  
全く新しいタイプの「デジタルテキスト」です。



eboard

# 学習をはじめる前に…

## 「英文法」って聞くと、どんなイメージ？



- ・覚えることが多い…
- ・いろんな単元があって難しい(+\_+)
- ・英語を話すのにはいらんないんじゃない？

### 覚えることが多い…

外国語を身につけるには、「暗記」は絶対に必要です(^\_^;)

でも単に読み書きや会話ができるようになるだけなら、そんなにたくさん覚える必要ナシ。ちょうど中学校で習う単語と文法くらい。

このテキストでは、「暗記」の部分がなるべく減らせるように、  
文法を整理し直し、ポイントを絞って解説しています。

### いろんな単元があって難しい(+\_+)

文法を勉強していると、次々に新しい単元が出てきて、ごちゃごちゃになりがち…

このテキストでは、な、なんと…！英語の文を「列車」に見立てて、  
単元を「文のカタチをきめるエンジン」と「文の部品になる車両」に分けて説明。

実は英文法のキホンのな決まりは「エンジン」で決まっていて、

その後いろんなタイプの「車両」があるだけなんです。

しかも動画で丁寧な説明が見れるので、こりゃまた、分かりやすい！

### 英語を話すのにはいらんないんじゃない？

そんなことはありません。文法を知らないってことは、カンタンに言うと  
単語を並べただけってこと。単語を並べるだけの言葉を話す人と、話したい？

ちゃんとした文で話してくれたほうが、話やすいのは当たり前だし、

自然に会話をするためには、文法は必要です。

だからって、会話で使わないような難しい構文を覚えなくてはいけない、  
ってことではありません。

普通の会話をするには、中学校レベルの文法で十分です。

# このテキストの構成について

このテキストでは、学校や塾で習う順番ではなく、「**それぞれの単元が女でどんな役割をするか**」ということを考えて、順番を考えています。学習に入る前に、この順番についてちょっと見ておこう。これを読んでおけば、英文法の正体が何倍もつかみやすくなるはず(^0^)/

## 英語では語順が重要!

まずは、次の日本語の文を読んでみてください。

- あなたの好きなスポーツは何ですか。
  - 何ですか、あなたの好きなスポーツは。
- この2つの文、意味はもちろんおなじ。

それじゃあ、上の日本語を英語にした文を見てみよう。  
単語の意味は気にせずに、順番だけ見てください。

○ What is your favorite sport?

× Your favorite sport is what?

日本語では順番を変えても意味が通じるけど、英語では下の文のように順番を変えると意味が通じません。(これは英語に助詞がないからなんだけど)  
**英語では、単語の順番が日本語よりずっと重要になるんです。**

## 英語のキホンの順番は、「主語+動詞」。

それじゃあ、英語の順番はどうやって決まるんだろう?

日本語 私は、自転車で毎日高校に通っています。

主語

述語

英語 I go to school by bike every day.

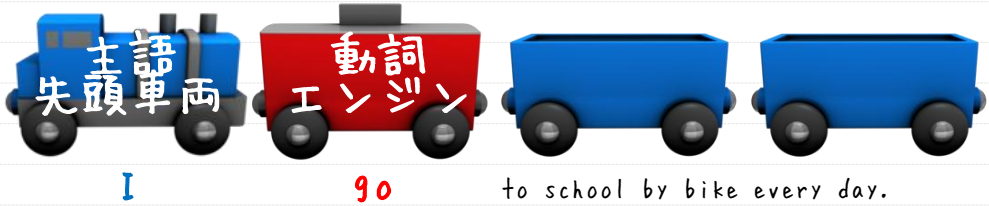
主語 述語

日本語では、文の最初に主語(～は、～が)がきて、「述語」は文の最後になることが多いです。でも、英語での述語になる「動詞」は主語のすぐ後に来ます。

英語の文を列車に例えると、

**主語は女の「先頭車両」、動詞はその後につづく「エンジン」ってイメージ。**

# このテキストの構成について



文のカタチをきめるのは、動詞の「エンジン」。

そして文全体のカタチも、この動詞の「エンジン」で決まります。  
「エンジン」で英語では「時間(時制)」も変えられるし、  
その後続く単語、つまり「車両」も変わってくるんです。

英文法を学習するときの大切なポイントは、「**今列車のどこを学習してるのか**」を  
しっかりつかむこと。

**エンジンは、文のカタチや時間(時制)をきめる部分なので、早めにカタチを  
身につけないといけません。**

**車両**には、他のいろんな部品(単語)がくることが出来ます。なので、こっちは  
**暗記が中心**。ここをたくさん覚えるほど、いろんな表現ができるようになります。

このテキストでは、文法の単元を「エンジン」と「車両」に分けて、  
英語を身につけるために絶対必要な「**入門編**」と、  
よりいろんな表現を身につける「**応用編**」に分けて解説していきます。

# 目次

## 入門編

入門編では、英語の読み書き、会話に最低限必要な文法の基礎を学習。文のカタチをきめる「エンジン」では、英語の**2種類の動詞**と**時制**、英語の文の部品になる「車両」では、**冠詞**や**名詞**の複数形、**代名詞**などよく使う部品をみていきます。



1. be動詞の文
2. 一般動詞の文



3. 冠詞、名詞、代名詞
4. 疑問詞疑問文、命令文



5. 過去形の文
6. 進行形
7. 未来を表す文
8. 現在完了形

## 応用編

応用編のエンジンは、**助動詞**と**受動態**の单元だけ。

苦手にしがちな**不定詞**、**分詞**、**関係代名詞**なんかは、全部「車両」なんです。どんな車両になるか、つまりどんなはたらきをするかをおさえるのがポイント。



1. 助動詞
2. 受動態(受け身)



3. 比較
4. 不定詞
5. 動名詞
6. 分詞
7. 関係代名詞

# テキストの使い方



①単元の始まりは、  
例文から。その後には  
文法の解説が続くぞ。



は、動画や動画の  
リストへのリンクだ。  
動画での説明が見たい  
ときは、クリック！

## 1. be動詞の文



### 1. This[That] is ~.

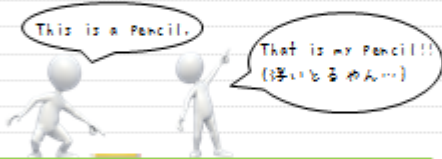
英語を勉強したことがない人未、きっと聞いたことがある

① This is ~. この「is」は、be動詞だっただけ。



### This[That] is ~.

- 1) This is a Pen.  
これはペンです。
- 2) That is my Pen.  
それはペンです。



英語で日本語の「これ」「あれ」と同じように、  
近いものや遠くのものをさすときで、言葉を使い分けます。  
近くのものをいう時 → This is ~. (これは~です。)  
遠くのものをいう時 → That is ~. (それは~です。)

this  
: これは、この  
is:  
: ~は~です。  
Pen:  
ペン  
that:  
: それは、あの  
my  
: 私の  
→ [人々をよび名詞](#)

ページの右側は、単語や予習・復習への  
リンクなどがある。

[青い下線文字](#)をクリックすると、別の  
ページへ移動できるぞ。

知りたい!!

冠詞について詳しく  
知りたい人は、  
[冠詞\(a, an, the\)](#)で  
検索しよう。

# テキストの使い方



②単元の途中には、説明をまとめた「英語のカタチ」ってのがでてくる。これだけおさえおけばOkなくらいポイントがまとまっているぞ。

## 冠詞「a / an / the」

②



### 英語のカタチ

【冠詞の使い分け】

1) a, an

名詞がひとつの単位で、限定されないときに使う。  
母音から始まるときには、「an」。

2) the

名詞が限定されているときに使う。

3) 冠詞がつかない

名詞が複数の場合や元の名詞の意味がもうある場合には、冠詞がつかないことも。

③

### チェック問題

( )に冠詞を入れよう。冠詞がいらぬときは「X」を。

① many ( ) notebooks たくさんの本

② ( ) hour / 時間

③ ( ) earth 地球

④ on ( ) Sunday 日曜日

⑤ ( ) notebook ノート

⑥ after ( ) school 放課後



many : たくさんの  
hour : 時間  
earth : 地球  
Sunday : 日曜日

→ [英語のカタチ](#)



③単元の最後は、チェック問題。これができなかつたときは、もう一度単元を復習してみよう。

# 入門編

入門編では、英語の読み書き、会話に最低限必要な文法の基礎を学習。  
主に中学校1年生～2年生で習う内容です。  
入門編の単元については、全単元をしっかりと理解できるようにしよう。



- 1. be動詞の文
- 2. 一般動詞の文



- 3. 冠詞、名詞、代名詞
- 4. 疑問詞疑問文、命令文



- 5. 過去形の文
- 6. 進行形
- 7. 未来を表す文
- 8. 現在完了形





# 1. be動詞の文

## 1. I am ~. / You are ~.



最初の話が分からなくて、ちょっと心配してる  
あなた...分からなくても全然問題ありませーん。  
まずは英語で自己紹介!



## I am ~. / You are ~.

- 1) I am [I' m] Shinji.  
私はシンジです。
- 2) You are [You' re] kind.  
あなたは優しいですね。
- 3) I am [I' m] from Osaka.  
私は大阪出身です。

英語で「私は～です。」という時は、上の文のように  
「I am ~.」ってカタチを使います。「I am」は短くして、  
「I' m」でもOK。「I」はいつも大文字で書きます。  
「あなたは～です。」は「You are ~.」。「you are」は  
短くすると「you' re」。  
英語の文の最初は、大文字にするのを忘れないようにね。

この「I am ~.」、「You are ~.」の後にいろんな単語を  
つなげて、「私」や「あなた」の状態をいうことができます。  
たとえば、3)の「from(～から)」。  
「I am from ~.」ってカタチで「私は～の出身です」と、  
自分の出身をいうことができます。

それじゃあ、今説明した文のカタチを確認しよう。  
英語の文法は、文のカタチ(パターン)を身につけることが  
マスターのポイントです。



I

; 私は(が)

you

; あなたは(が)

kind

; 優しい

from

; ～から

you' re

; you areの短縮形

I' m

; I amの短縮形

I am ~. / You are ~.



## 英語のカタチ



私は シンジ です。



I am Shinji.

主語 動詞

あなたは トム です。



You are Tom.

主語 動詞

私は～です。 ⇒ I am [I' m] ~.

あなたは～です。 ⇒ You are [You' re] ~.

実はここででてきた、「am」と「are」は**be動詞**というグループのグループといっても、この2つと「is」を加えただけなんです。

この**be動詞**は「**動詞**」なので、女の「**エンジン**」になります。つまり、主語の後にきて、女の**カタチをきめる役割**をするんです。今から3つのbe動詞を見ていくけど、どれもbe動詞を使った女なので、同じ女のカタチになります。ちょっと難しいけど、見ていくうちに分かるはず！

戻って復習！！

「学習を始める前に...」は読んだ？  
主語や動詞の話はそこでしたんだ。

# 1. be動詞の文

## 2. 疑問文 Are you ~?



Are you ~?



1) Are you Shinji?

あなたはシンジですか。

- Yes, I am. / No, I am [I'm] not.

2) Am I cute?

私ってかわいい?

- Yes, you are. / No, you are not [aren't].



cute

; かわいい

yes

; はい

no

; いいえ

not

; ~ではない

上の文のように人と会話をしていたら、相手に質問することあるよね？日本語では文の最後に「か」などをつけるけど、英語では文のカタチが変わります。

さっきやった「I am ~.」「You are ~.」の文では、

「am」や「are」のbe動詞を文の最初に持ってきて、

「.(ピリオド)」を「?(クエスションマーク)」に変えるだけ！

質問されたらちゃんと答えないと。1)の場合だと、

Yes, I am Shinji. (はい、私はシンジです。)

と答えたらいいわけですが、でも「シンジ」ってことは、分かってるからわざわざ言わなくて結構(-)なので、

「はい」の場合は、「Yes, I am.」、

「いいえ」の場合は、「No, I am (I'm) not.」のカタチで

答えるのが普通です。

でも実際の英語では、答え方はいろいろ。

かわいい？ってきかれて、No. とはなかなか言えません(^\_^;) )

英語の疑問文では、基本的に文の最後をアゲて読むってことも大事。発音や強弱は何度も口に出して、カラダで覚えよう。

I am ~. / You are ~.

### 3. 否定文 I am not ~.



I am not ~.



- 1) I am [I' m] **not** Shinji.  
私はシンジではありません。
- 2) You are [You' re] **not** cool.  
あなたはクールじゃないね。



cool

; 涼しい、クール  
かっこいい

aren' t

; are notの短縮形

続いて「～ではない」と否定するカタチを見てみよう。  
といっても、そのカタチは疑問文にすでに登場済み。  
疑問文「No.」の答にもでてきた「not」を、例文のように  
「am/are」の後ろに入れるだけでOK。

つまり、「私は～ではありません」は「I am not ~.」に  
「あなたは～ではありません」は「You are not ~.」に  
なるってこと。「are not」の短縮形「aren' t」も  
覚えておこう。

# 1. be動詞の文



## 英語のカタチ

【疑問文】「～ですか。」とたずねる文

**Are** you Shinji?

- Yes, I am. / No, you are not [aren't].

You are ~. の疑問文

⇒ 「are」を文の最初に○

答えるときは、- Yes, I am.

- No, I am not [aren't].

【否定文】「～ではありません。」と否定する文

I am [I'm] **not** Shinji

「I am ~. / You are ~.」の否定文

⇒ 「am/are」の後に「not」を入れる○

「I am ~.」や「You are ~.」の文は、「am」や「are」を文の初めにもってくれば、疑問文になるし、

「am/are」の後に「not」をいれれば、否定文になる○

実はけっこうカンタンなこのルールで、他のbe動詞の文でも疑問文や否定文が作れるんです。なぜならエンジンの部分が同じbe動詞だから。文のカタチは、エンジンで決まります○

それじゃあ、ここまでのチェック問題を解いてから、今度はbe動詞の「is」を使う場合を見ていこう○

# I am ~. / You are ~. チェック問題

1. 日本語の意味に合うように、下の ( ) をうめよう。

① 私はケンです。

( ) ( ) ken.

② あなたはクミではありません。

( ) ( ) ( ) kumi.

③ あなたはトムの友達ですか。

( ) ( ) Tom's friend?

④ 私は東京出身ではありません。

( ) ( ) from Tokyo.

⑤ 私はあなたの先生です。

( ) ( ) your teacher.



friend

; 友達

your

; あなたの

⇒ 人を表す代名詞

teacher

; 先生、教師

2. 次の文をそれぞれ疑問文にして、答え方も考えよう。

① You are from Canada.

⇒ 疑問文 ( )

- はい ( ) / いいえ ( )

② You are Asuka.

⇒ 疑問文 ( )

- はい ( ) / いいえ ( )

3. 次の単語の意味を使って、自分に当てはまることを言ってみよう。分からない単語は調べるべし。

「a」は「ひとつの」って意味。名詞の前につけます。

a student, 13 years old, young, old,  
a boy, a girl, John, Japanese, from China

知りたい!!!

ちょっと「a」が  
気になるんですけど  
って人は、ちょっと  
予習してみては？  
⇒ 冠詞ってなに？

例) I am a student.

I am 13 years old.

I am not a boy.

I am a girl.

⇒ 答えはコチラ

# 1. be動詞の文

## 1. This[That] is ~.

英語を勉強したことがない人も、きっと聞いたことがある  
This is ~. この「is」は、be動詞だったんだね



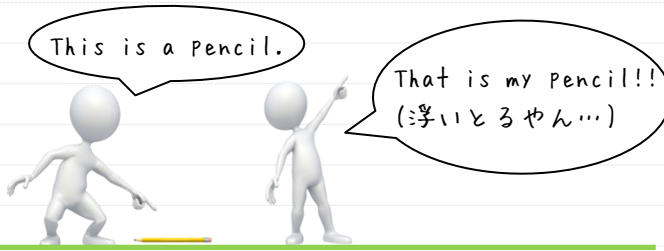
### This[That] is ~.

1) **This is** a pencil.

これは鉛筆です。

2) **That is** my pencil.

あれは鉛筆です。



英語でも日本語の「これ」「あれ」と同じように、  
近いものと遠くのものを言うときで、言葉を使い分けます。

近くのものという時 → **This is ~. (これは~です。)**

遠くのものという時 → **That is ~. (あれは~です。)**

上の文で「pen」の前に、「a」というのがついてるけど、  
これは**冠詞**と呼ばれるもの。ここでは説明しないけど、  
「a」は、ものが1つしかないときに、名詞の前につけるって  
ことを覚えておこう。

ではでは、カタチの確認いってみよう(^0^)/



this

; これは、この

is ;

; ~は...です。

pencil

; 鉛筆

that ;

; あれは、あの

my

; 私の

⇒ 人を表す代名詞

**知りたい!!!**

冠詞について詳しく  
知りたい人は、  
冠詞(a, an, the)で  
先取りしてみよう。

This[That] is ~.



## 英語のカタチ



これ(あれ)は 鉛筆 です。

This[That] is a pencil .

主語

動詞

これは(あれは)~です。

⇒ This[That] is ~.

さっきの「am」や「are」を使った文と同じで、主語の後にbe動詞が来てるね。英語は「主語+動詞」の順番でした。

3つのbe動詞をみてきて気づいた人もいるだろうけど、be動詞は主語によって変わっていきます。



# 1. be動詞の文

## 2. 疑問文と否定文



### 疑問文と否定文

1) Is this your bag?

- Yes, it is. / No, it is not [isn't].

これはあなたのかばんですか。

2) That is not [isn't] a door.

あれはドアではありません。

3) This car is big.

この車は大きい。



your

; あなたの

⇒ 人を表す代名詞

bag

; かばん

door

; ドア、扉

isn't

; is notの短縮形

big

; 大きい

上の文は「This[That] is ~.」の文の疑問文と否定文。

疑問文（これは（あれは）～ですか。）は、「is」を文の最初に移動させ、最後に「?」を付けてつくりま

す。これに答えるときは、「it(それ)」を使いま

す。日本語でも、相手も分かってるものを指す時には「それ」を使うよね。1)の文では、「this(これ)」が「かばん」を指すことは分かっているので、「it(それ)」を使いま

す。否定文（これは（あれは）～ではありません。）は、「is」の後に「not」をつけてつくりま

す。ここも「I am ~. / You are ~.」のカタチにそっくり。be動詞を使った文は、すべて同じルールで疑問文や否定文をつくるんです(-.-)

3)の文のようなカタチ。「this」は名詞の前で、「この」っていう意味を作ることもあります。「that」なら「あの」。これもよく出てくるカタチなので、覚えておこう。

This[That] is ~.



## 英語のカタチ



### 【疑問文】

Is this your bag?

- Yes, it is. / No, it is not [isn't].

### 【否定文】

That is not a door.

疑問文 → be動詞を文の最初に出す。

it is ~で答える。

否定文 → be動詞の後に「not」を入れる。

# 1. be動詞の文

## 3. What is ~?

「これは～です。」という文を学んだので、ココと一緒に「これは何ですか?」と質問する文も身につけておこう。  
「This is ~.」と「何」って意味の「what」を組み合わせるだけで、文をつくれるんです。



### What is ~?

- 1) What is [What's] this? - It is a notebook.  
これは何ですか。 — それはノートです。
- 2) What is [What's] that? - It is a clock.  
あれは何ですか。 — それは時計です。

「what(何)」を使って、「これは何ですか」をそのまま英語にすると、下のような文になりそう。

× This is what?

× Is this what?

けど、「what(何)」とかの疑問詞って呼ばれる単語には、相手にききたいことを強調するために、文の最初に持ってくるというルールがあるんです。

なので、「what」を文の最初に持ってきて、

○ What is this?

になります。「what」の後は、疑問文の順番にします。

「what」の文に答えるときは、もう何を指しているかわかっているので、「it(それ)」を使います。

疑問詞には、「what」の他に「who(誰)」や「where(どこ)」「when(いつ)」などがあります。どの疑問詞も文の最初にくることは、ココで覚えておこう。



what

; 何

notebook

; ノート

clock

; 壁にかける時計

what's

; what isの短縮形

知りたい!!!

他の疑問詞について詳しく知りたいなら  
⇒ [疑問詞疑問文](#)

This[That] is ~.



## 英語のカタチ



× This is what!

疑問詞「what」は文の最初に

○ What is this?

「～は何ですか」 — 「それは～です」

⇒ What is ~? - It is ~.

なぜ「what」の後は疑問文の順番になるかというと、  
単語の順番が変わる「倒置」が起きるから。

いつもは「主語＋動詞」の順番だけど、倒置がおきて  
「動詞＋主語」の順番になる、というわけ。いつも倒置が  
おきるわけじゃないんだけど、ここでは疑問詞の「what」は  
文の最初に持ってくる、ってことは覚えておこう。

ひとまずここで、チェック問題！

その後「is」を使う他のパターンを見ていきます。

# This[That] is ~. チェック問題

1. 日本語の意味に合うように、下の ( ) をうめよう。

① こちらはマスオです。

( ) ( ) Masuo.

② あれはあなたの猫ですか。

( ) ( ) ( ) cat?

③ これはノビタのおもちゃではありません。

This ( ) ( ) Nobita's toy.



's  
: ~ (人) の  
toy  
: おもちゃ

2. 次のイラストを見て、例にならって疑問文を作ろう。



thisで表そう。

②



thatで表そう。



例

TV  
: テレビ  
book  
: 本  
house  
: 家

例) ( What is that )?

- ( It ) ( is ) a TV.

① ( )?

- ( ) ( ) a notebook.

② ( )?

- ( ) a house.

知りたい!!!

英語では「私は」と「私の」では、違う単語を使います。  
⇒ 人を表す代名詞

3. 「This is ~, (これは~です)」と「my(私の)」を使って、今自分の周りについて言ってみよう。

例) This is my Pen.

This is not my computer.

computer  
: パソコン  
⇒ 答えはコチラ

# 1. be動詞の文

## 1. He[She] is ~.

これまでの英文で出てきた人は、「I」と「You」だけ。けどもちろん、会話しているときにその場にはいない人の話をすることもあるよねー(-.-)



### He[She] is ~.

1) He is [He' s] 13 years old.

彼は13歳です。

2) Is he from China?

- Yes, he is. / No, he is not [isn' t].

彼は中国出身ですか。

3) She is not [isn' t] my teacher.

彼女は私の先生ではありません。



years old

; ~歳

China

; 中国

teacher

; 先生、教師

主語が「I/you」のとき、be動詞は「am/are」でした。それ以外の主語、自分や相手以外で一人(一つ)のときは、be動詞は「is」を使います。

上の文の「he(彼は)」や「she(彼女は)」は、「自分や相手以外の1つ」なので、「is」を使ってるわけ。

疑問文、否定文は2) 3) の通り。もうこのカタチは大丈夫かな? 疑問文では、be動詞の「is」を文の最初に、否定文では「is」の後に「not」を入れれば、完成です。



戻って復習!!

I am ~. / You are

~とかそろそろ

忘れてない?



## 英語のカタチ



He is from Japan. (彼は日本出身です)

主語がIやyou以外で一人(一つ)のときのbe動詞は「is」を使う。

He[She] is ~. Who is ~.

## 2. 「Who」を使った疑問文

### 「Who」を使った疑問文

- 1) **Who are you?** - I am [I' m] Taro.  
あなたは**だれですか**。 - 私はタロウです。
- 2) **Who is she?** - She is [She' s] my cousin.  
彼女は**だれですか**。 - 彼女は私のいとこです。



cousin

; いとこ

「what」の意味は覚える? 「何」って意味で、ものやことからきくのに使いました。

例文の「who」は「誰」という意味で、「what」の仲間の人についてきくときに使います。文のカタチは「what」のときと同じで、「who」を文の**最初に、その後に疑問文の順番で文をつくればOK (^o^)** /

答える時は、「あなたは誰?」と聞かれているわけなので、「I am ~. (私は~です。)」で答えます。「彼(女)は誰?」と聞かれたら、さっき勉強した「He (She) is ~.」で答えればいいわけです。



### 英語のカタチ



× He is who?

○ Who is this?

→ 疑問詞「who」は文の**最初に**

「~は誰ですか」 ⇒ **What is ~?**

それじゃあ、次でbe動詞も最後! be動詞のまとめです。

# 1. be動詞の文

## 1. be動詞の意味と種類

さあ、とうとうbe動詞の整理をしていきます。「I」やら「you」やら「this」やらで、混乱してしまった人は、必ずここで整理して、使いこなせるようにしましょう。



### be動詞の使い分け

- 1) I **am** Ichiro.  
私是一郎です。
- 2) You **are** my father.  
あなたは私の父です。
- 3) She **is** my mother.  
彼女は私の母です。
- 4) We **are** champions.  
私たちがチャンピオンだ。
- 5) They **are** my brothers and sisters.  
彼らは私の兄弟、姉妹です。
- 6) Mom, I' **m** home!  
お母さん、ただいま。



father  
; 父  
mother  
; 母  
we  
; 私たちは  
⇒ 人を表す代名詞  
champion  
; チャンピオン  
they  
; 彼(女)らは、  
それら  
brother  
; 兄弟  
sister  
; 姉妹  
mom  
; ママ、お母さん

そもそもbe動詞ってなんなのさ?って思いませんか?

be動詞は「～です。」とならった人もいるかもしれないけど  
そりゃあ、「バカの一分覚え」というやつです(+,+)

be動詞は、「**主語の状態**」を表す役割をします。

なのでいつも「～です。」とは限らず、1)の文は

「私是一郎という状態だ」という訳で、「私是一郎です」、

5)は「私は家にいる状態だ」という訳で、

「家にいる」⇒「ただいま!」という会話の表現になります。

そして大事ななのは、be動詞の使い分け。ここは次のページのカタチでマスターしよう。



# be動詞のまとめ



## 英語のカタチ




be動詞は、主語が

①「I」のとき ⇒ am

②「you」または複数~~の~~のとき ⇒ are

③それ以外 ⇒ is

# be動詞のまとめ チェック問題

1. 次の文の ( ) に正しいbe動詞をうめよう。	
①私は天王寺出身です。 I ( ) from Tennoji.	pig ; 豚
②ジヨブのコンピューターはマックだ。 Job's computer ( ) Mac.	still ; まだ、それでも
③3匹の豚はまだ2歳です。 Three pigs ( ) still two years old.	one of ~ ; ~の1つ(1人)
④あなたはタロウのお母さんですか。 ( ) you Taro's mother?	best ; 最高の
⑤彼は私の大切な友達です。 He ( ) one of my best friends.	actually ; 実は
⑥私たち実は双子なんです。 We ( ) actually twins.	twins ; 双子
⑦これは私の携帯電話ではありません。 This ( ) not my cell phone.	cell phone ; 携帯電話
⑧これらは本当に果物なんですか。 ( ) these really fruits?	these ; これら really ; 本当に
2. 次の文をそれぞれ疑問文と否定文にしよう。	
①You are my classmates. ⇒疑問文( ) ⇒否定文( )	fruits ; 果物
②He is John's brother. ⇒疑問文( ) ⇒否定文( )	classmate ; クラスメイト 同級生
③Those are my guitars. ⇒疑問文( ) ⇒否定文( )	those ; あれらは
	→答えはコチラ

## 2. 一般動詞の文

### 1. 一般動詞の文



これまででてきたのは、be動詞でもこれじゃあ自分の自慢や人の文句くらいしか言えないよ…ってわけで、もう1つの動詞、一般動詞の文にいきましょう！



### 一般動詞の文

1) I **go** to school every day.

私は毎日学校に**行きます**。

2) You **like** Tom and Sheri.

あなたはトムとシェリーが**好きです**。



go

; 行く

to

; ~へ、~に

school

; 学校

every day

; 毎日

like

; ~が好きだ

~を好む

この2つの文にでてくる「go」と「like」が一般動詞。実は英語のエンジンになる動詞には、be動詞と一般動詞しかありません。つまり…この一般動詞をマスターすれば、英語のキホンのカタチはバッチリってこと。be動詞は主語の状態を表したけど、一般動詞は日本語の動詞と同じように、動作を表します。なので、be動詞は3つしかなかったけど、一般動詞はたくさん…早く覚えていろんな動作を言えるようにしよう。

一般動詞のときでも「主語+動詞+~」の順は変わらず。主語の「先頭車両」がきて、動詞の「エンジン」です。

それじゃあ、疑問文と否定文は？

これはbe動詞と一般動詞で大きく違います。これをしっかり区別できないってことは、文のカタチが分かってないってことなので大変(；\_；)確認してみましょう。

# 一般動詞

## 2. 疑問文と否定文



### 疑問文と否定文

1) Do you like history?

- Yes, I do. / No, I do not [don't].

あなたは歴史が好きですか。

2) I do not [don't] go to cram school.

私は塾に行きません。



history

; 歴史

cram school

; 塾

一般動詞の疑問文では、文の最初に「do」をおきます。

この「do」は「～する」という意味の一般動詞。

この「do」は「この文は疑問文だ!」という印として、使われていて、たいした意味はないです。

答える時は「私は～です。」と答えることになるので、

「I」を使い Yes, I do. / No, I do not [don't].

答え方もしっかり覚えましょう。

否定文は、動詞の前に「do not [don't]」をおいて、作り

ます。「don't」は「do not」を短くしたものの「do」も

「do」は「これは否定文だ!」という印の役割をしています。

それではカタチの確認といきましょう。

## 2. 一般動詞の文



### 英語のカタチ

#### 【肯定文】

You like Tom and Shery.

主語 動詞

#### 【疑問文】

Do you like history?

- Yes, I do. / No, I do not [don't].

#### 【否定文】

I do not [don't] go to cram school.

疑問文 → 「do」を文の最初におく。

答え方は、Yes, I do. / No, I do not [don't].

否定文 → 一般動詞の前に

「do not [don't]」を入れる。

戻って復習!!

be動詞の疑問文と  
否定文の違いを  
確認しておこう!

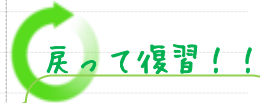
# 一般動詞

## 3. What do you have?

be動詞のときは「What is this?(これはなんですか)」  
みたいに、Yes / No で答えない、「もの」や「こと」を  
質問する疑問文を学びました。

もちろん一般動詞でも同じように、「what」から始まる  
疑問文をつくることができます。

be動詞のときと同じように、**文の最初の「What」のあとには  
疑問文の順番**です。「Do you ~?」の疑問文で、動詞のあとに  
あった単語が「what」に変わって、文の最初に来たって  
わけです。



戻って復習!!

What is ~?の文に  
ついて忘れてたら、  
要復習です!



## 英語のカタチ



× You have what?

**疑問詞「what」は文の最初に**

○ What do you have?

⇒ あなたは何を持っていますか。

- I have a book. (私は本を持っています。)

「what」のあとは疑問文の順番

⇒ **What do you ~?**

それじゃあ、チェック問題…に行く前に、せっかくなので  
いろんな一般動詞を見てみよう。今すぐには全部覚えなくても  
いいけど、覚えたら覚えた分だけ、いろんな意味の文が  
つくれるってこと。

自分がよく言いそうな言葉は覚えておくといいね。



have

: ~を持っている

# 覚えておきたい一般動詞 ベスト100 ①

## これ覚えてないとヤバイよ 50語

この50語は、英語を習い始めたころに絶対覚えておきたい単語。  
動詞は英語に欠かせないエンジン。  
日常会話のために、これをまず覚えてしまおう。

1. begin	始まる、始める	26. run	走る
2. buy	買う	27. say	言う
3. come	来る	28. see	見る、見える
4. cook	料理する	29. show	見せる
5. do	する	30. sing	歌う
6. drink	飲む	31. speak	話す
7. eat	食べる	32. stand	立つ
8. enjoy	楽しむ	33. start	始める
9. feel	感じる	34. stay	とどまる、滞在する
10. finish	終わらせる	35. stop	とまる、とめる
11. get	得る、～になる	36. study	勉強する
12. give	あげる、与える	37. take	とる、つれていく
13. go	行く	38. talk	話す
14. have	持っている	39. teach	教える
15. hear	聞こえる	40. tell	言う、伝える
16. help	助ける	41. think	考える、思う
17. know	知っている	42. understand	理解する
18. leave	出発する	43. use	使う
19. listen	聞く	44. visit	訪ねる
20. live	住んでいる	45. wait	待つ
21. look	見る	46. walk	歩く
22. make	つくる	47. want	ほしいと思う
23. meet	会う	48. watch	見る
24. play	遊ぶ、弾く、する	49. wear	着ている
25. read	読む	50. write	書く

# 覚えておきたい一般動詞 ベスト100 ②

## やっぱりこれくらいはさ 50語

さっきの50語では、まだまだ足りないはず。


このテキストを読み終えるまでに、少しずつでも覚えて、

文法のキソが終わるくらいには、やっぱりこれくらいは覚えておきたいものです。

1. answer	答える	26. hope	望む、希望する
2. arrive	着く、到着する	27. introduce	紹介する
3. become	～になる	28. invite	招待する
4. bite	かむ	29. keep	保つ、～にしておく
5. borrow	借りる	30. lend	貸す
6. break	壊す、壊れる	31. lose	失う、負ける
7. bring	持ってくる	32. move	動く
8. build	建てる	33. need	必要とする
9. catch	つかむ、とる	34. open	開く
10. carry	運ぶ	35. pay	(お金を)払う
11. change	変わる、変える	36. pull	引く
12. clean	そうじする	37. push	押す
13. close	閉める、閉まる	38. put	置く
14. cry	泣く	39. ride	乗る
15. cut	切る	40. sell	売る
16. die	死ぬ	41. send	送る
17. drink	飲む	42. sit	座る
18. drive	運転する	43. sleep	眠る
19. fall	落ちる	44. smell	においがする、かぐ
20. find	見つける	45. throw	投げる
21. follow	追う、ついていく	46. touch	さわる
22. forget	忘れる	47. try	試す、挑戦する
23. grow	育つ、育てる	48. turn	回る、変わる
24. happen	起こる	49. wash	洗う
25. hold	つかむ	50. work	働く



# 一般動詞(I like ~.) チェック問題

1. 下の枠線内の一般動詞も使いながら、日本語の意味に合うように、下の( )をうめよう。	
①あなたはハナコが好きなの? ( ) you ( ) Hanako?	often ;よく、しばしば
②私たちはよく一緒にサッカーをします。 We often ( ) soccer together.	cousin ;いとこ
③私は小説は読みません。 I ( ) ( ) novels.	still ;まだ、それでも
④その店で何をかうんですか? ( ) ( ) you buy at the store?	must ;~しなければ ならない
⑤私は毎年夏にはいとこに手紙を書きます。 I ( ) a letter to my cousin every summer.	⇒助動詞「must」
⑥私は日曜日に昼ごはんを作ります。 I ( ) lunch on Sundays.	before ;前の、前に
⑦私たちは宿題は夕食の前にしないとダメです。 We must ( ) homework before dinner.	grandparents ;祖父母
⑧祖父母は、毎年私達におこづかいをくれます。 My grandparents ( ) us money every year.	
like(好きだ), write(書く), read(読む) make(作る), do(する), buy(買う) give(与える、あげる), play(する、弾く、遊ぶ)	
2. 次の文をそれぞれ疑問文と否定文にしよう。	live ;住む
①They live in Tokyo. ⇒疑問文( ) ⇒否定文( )	in ;~に、~の中に
②You walk to school. ⇒疑問文( ) ⇒否定文( )	walk ;歩く walk to ~ ;歩いて~に行く ⇒答えはコチラ

## 2. 一般動詞の文

### 1. 三人称・単数・現在形の「s」

#### 三人称・単数・現在形の「s」

- 1) I like apples.  
私はリンゴが好きです。
- 2) He likes apples.  
彼はリンゴが好きです。
- 3) Jobs likes apples, too.  
ジョブズもリンゴが好きです。



too

；～も(前に「,」がつく)

ここでは「**三人称・単数・現在形のs**」について勉強します。  
な、なんじゃそりゃ…(^\_^;)難しく聞こえるけど、まずは、  
順番に三人称、単数、現在形、それぞれの言葉の意味を  
とりあえず確認していきましょう。

まず「**人称**」とは、文の話し手から見て「話し手・聞き手・  
第三者(それ以外の誰かさん)」のどれにあたるかを表す言葉。  
一人称は「I(私・自分)」、二人称は「you(あなた)」、  
**三人称は「he, she, Tom, it, …」のような、私やあなた  
以外の「他の人やもの」です。**

#### 人称のイメージ



# 三人称・単数・現在形の「s」

「単数」は「複数」の反対で、**ひとつの人やもの**。

「現在形」は、**今の状態や習慣などについての文**で、今までに勉強した文は、全部現在形です。

「文の主語が三人称」「文の主語が単数」「現在形の文」の3つの条件がそろると、例文2)や3)のように、**一般動詞の文では、動詞の最後に「s」をつけます**。

これを「**三人称・単数・現在形のs**」っていうわけ。省略して「**三単現のs**」って言ったりもします。



## 英語のカタチ



I like apples.

↓ 主語を「I」→「He」に変えると…

He likes apples.

主語が「**三人称**」「**単数**」「**現在形**」の一般動詞の文では、**動詞の最後に「s」がつく!!**

けど、なんで「三単現のs」なんてめんどくさいもんが動詞につくのか(+\_+)

実は大昔の英語では一人称や二人称の時にも、「en」とか、別のものが動詞についていました。しかし言葉が使われてく中で、段々それが省略されていったんです。

ちなみに、英語と同じラテン語から生まれたフランス語では、今も一人称や二人称の時にも、おしりに「e」やら「ez」やら、いろんなものをつけます。英語はまだマシかな？

## 2. 一般動詞の文

### 2. 三単現の"s"のつけ方

三単現の「s」の話がこれだけならまだ簡単だけど、実は動詞によって「s」のつけ方が違います。

ここは、カタチで一度に整理です…( )\_( )



### 英語のカタチ

#### 【三単現「s」のつけ方】

①ふつうは、「s」だけ。

例: eat → eat**s**, like → like**s**

②最後が「子音+y」の動詞は、

「y」を「i」に変えて「es」。

※「母音+y」のときは、そのまま「s」をつける。

例: study → stud**ies**, ※play → play**s**

③最後が「s/sh/ch/x/o」の動詞は、「es」

例: wash → wash**es**, go → go**es**

④特殊バージョン「have → has」



wash

: 洗う

「s」のつけ方が変わるのは、英語の発音や変化の歴史が関係しています。「s」をつけるだけだと発音しにくい単語には「es」をつけて、発音しやすくしたりしてるんです。

# 三人称・単数・現在形の「s」

## 3. 疑問文と否定文



### 疑問文と否定文

- 1) Does Peter live in kobe?  
- Yes, he does. / No, he does not [doesn' +].  
ピーターは神戸に住んでいますか。
- 2) She does not [doesn' +] sleep in class.  
彼女は授業中寝ません。



sleep  
; 眠る、寝る  
in class  
; 授業中

一般動詞の疑問文では、「do」を文の初めに、否定文では「do not [don' +]」を動詞の前におくんでした。  
「三人称」のときもキホンは同じ。

疑問文では、「do」を三単現の形にした「does」を文の最初におきます。そして「do」を三単現の形にしたので、後の動詞「s」はなし(例文1)の「live」に「s」はなし)。

否定文も同じ。「do」に、三単現のsをつけて「does」の後の動詞に「s」はいりません(例文2)の「sleep」に「s」はなし)理解できればあとはミスに注意するだけ(-.-)




### 英語のカタチ



- 【肯定文】 Tom lives in kobe.  
【疑問文】 Does Tom live in kobe?  
【否定文】 Tom does not [doesn' +] live in kobe.

疑問文・否定文は、「do」の代わりに「does」、  
後ろの「s」消し、忘れずに。

# 三人称・単数・現在形の「s」チェック問題

1. 次の動詞を正しい形に直しなさい。	
ただし、直さずにそのままのものもあります。	always
① He always (sing) animation songs at karaoke.	; いつも
② We (go) to the stadium and (play) soccer on Sundays.	animation song
③ My family (visit) kyushu every summer.	; アニソン
④ Mr. Smith (teach) us math.	stadium
⑤ What color (do) he (like)?	; スタジアム
	visit
	; 訪れる、訪ねる
2. 次の文をそれぞれ疑問文と否定文にしよう。	every
① Your brother goes to university by bus.	; すべての
⇒ 疑問文( )	teach
⇒ 否定文( )	; 教える
② His sister sometimes helps him with his homework.	us
⇒ 疑問文( )	; 私たちに(を)
⇒ 否定文( )	⇒ <u>人を表す代名詞</u>
③ Joe enjoys movies at home.	color
⇒ 疑問文( )	; 色
⇒ 否定文( )	
	university
	; 大学
	by
	; ~によって
	sometimes
	; 時々
	help
	; 助ける、手伝う
	enjoy
	; 楽しむ
	→ <u>答えはコチラ</u>

# 3. 冠詞、名詞、代名詞

## 1. 冠詞ってなに？



英語のエンジン、動詞の基本はこれで終了！  
あとはこれにいろんな「車両」になる単語を  
組み合わせていけばいいのさー  
入門編では、キホンになる車両をみていくぜ。

まずは名詞の前につく「a」や「the」の「冠詞」。  
冠詞は名詞とセットで使います。



### 冠詞「a, an」



- 1) This is **a pen**.  
これは**(1本の)ペン**です。
- 2) This is **an apple**.  
これは**(1個の)リンゴ**です。

冠詞は「ふつうは”a”を使って、母音の音から始まる  
名詞のときは、”an”に変わる」ってならった？  
でもこれ、実は英語の歴史から見ると逆(+\_+)

もともとは「an」が「1つ」という数を表す単語として  
使われていました。今はほとんど意味を持たずに使っている  
けど、昔ははっきりと「1つ」って意味があったんです。  
それがだんだん省略されていって、「a」ができたというわけ。

**「1つの」名詞の前には、冠詞「a」を使う。**  
**母音のときには「an」。**どっちにしてもこのルールは  
変わらないので、しっかり身につけよう。

# 冠詞「a / an / the」

## 2. 冠詞「the」



### 冠詞「the」



- 1) I have a pen and a notebook in my bag.  
**The** pen is old.  
私はかばんにペンとノートを持っています。  
**そのペン**は古い。
- 2) I want **the** red T-shirt.  
私は**(その)**赤いTシャツがほしい。
- 3) **The** moon is beautiful tonight.  
今夜は、**月**が美しい。



want  
; ほしい  
T-shirt  
; Tシャツ  
beautiful  
; 美しい  
moon  
; 月  
tonight  
; 今夜、今晚

冠詞には「a / an」と「the」があります。この「the」は、「定冠詞」と言って、もとは「this」や「that」などの指示語からできたといわれています。

ちょっと難しい言葉がでてきたけど、「the」は「定」冠詞って名前のとおり、**定まったものを指す**ときに使うってことです。

- 1) の文の「the pen」は、前の文でてきているので、どのペンかが定まっています。なので「a」じゃなくて、「the」を使うってわけ。
- 2) は、話している相手がその場において、状況からどの「赤いTシャツ」か、が定まっている場合のような場合。  
I want a red T-shirt.  
という、どれかはまだ決まってないけど、赤いTシャツが1着欲しいって意味になります。
- 3) 「月」ってもちろんみんな知ってるし、1個しかない。なので、これも定まることになるので、「the moon」。  
ひとつしかないものには、「the」をつけるのが普通です。



# 3. 冠詞、名詞、代名詞

## 3. 冠詞が見つからないとき

これまで勉強してきた冠詞。実は名詞にも冠詞が見つからない場合が…(+、-)



### 冠詞が見つからないとき



some

; いくつかの、  
何か

go to bed

; 寝る

after school

; 放課後

1) I have some pens.

私はペンをいくつか持っています。

2) I go to bed at eleven.

私は11時に寝ます。

3) I play baseball after school.

私は放課後野球をします。

これまでの冠詞のつく場合を考えると、見つからない場合も自然と分かってくるはずですよ。

1) の文では、「some pens(いくつかのペン)」だとペンがいくつかあるので、1つでもないし、特定もされません。  
**複数形**のときには、**冠詞が見つからない**のがふつうですよ。

2) の「go to bed」は、「ベッドに行く」ってことで、「寝る」って意味で使われます。こんなふうに、名詞のほとんどの意味がうすれると特定されなくなるので、冠詞はナシ。  
同じように冠詞が見つからない熟語には、こんなものがあります。

go to school(登校する)、go to work(仕事に行く)

go to sea(船乗りになる)、after school(放課後)

3) の「baseball」には、冠詞がつきません。

これはちよっと例外で、習慣的にそうなったもの。他にも例外で冠詞が見つからないのもあるので、出てきたら覚えとこう。

# 冠詞「a / an / the」



## 英語のカタチ

### 【冠詞の使い分け】

#### 1) a, an

名詞がひとつのもので、限定されないときに使う。  
母音から始まるときには、「an」。

#### 2) the

名詞が限定されているときに使う。

#### 3) 冠詞がつかない

名詞が複数の場合や元の名詞の意味がうすれた  
場合には、冠詞がつかないことも。

## チェック問題

( )に冠詞を入れよう。冠詞がいらないときは「×」を。

① many ( ) notebooks たくさんの本

② ( ) hour / 時間

③ ( ) earth 地球

④ on ( ) Sunday 日曜日に

⑤ ( ) notebook / ノート

⑥ after ( ) school 放課後



many

; たくさんの

hour

; 時間

earth

; 地球

Sunday

; 日曜日

→ 答えはコチラ

### 3. 冠詞、名詞、代名詞

#### 名詞の複数形

「I have a pen.」「This is my pen.」…

これまで勉強してきた文では、いつもペンは1本。

実は英語では、ものが1つ以上(複数)あるとき、

「**複数形**」というカタチをつくらないといけないんです。

ここでは複数形を学んで、ペンの数を増やします(^o^)/



#### 名詞の複数形

- 1) a pen ⇒ two pens
- 2) a notebook ⇒ many notebooks
- 3) bus ⇒ buses
- 4) city ⇒ cities
- 5) knife ⇒ knives



city

; 都市、市

knife

; ナイフ

「複数形」と言ってもキホンはかんたん。1) 2) みたいに**名詞の後ろに「s」をつける**だけで、「これは複数ですよー」っていう印になります。英語では**名詞(もの)が複数あるとき、この「複数形」にするのがきまりです。**めんどくさい…(+\_+)

けどこれだけで終わらないのが、イヤなところ。単語によって、3)~5)のように**複数形のカタチが**変わる**ことがある**んです。次のページのカタチにまとめたのでこの変化は必ず身につけよう。

# 名詞の複数形



## 英語のカタチ



### 【複数形の「s」のつけ方】

- ① ぶつうは、「s」だけ。
- ② 最後がx, sh, s, z, chのとき、「es」。
- 例: dish → dishes
- ③ 最後が子音+yのとき、「yをiに変えてes」。
- 例: dictionary → dictionaries
- ④ 語尾がf, feのとき、「fやfeをvに変えてes」。
- 例: leaf → leaves



dish

: 皿

dictionary

: 辞書

leaf

: 葉

ややこしや…なんでこんな変化が起きるの？

こんな変化が起きてしまうのには、発音が関係しています。

例えば、②の「dishes」がもし「dishs」だったなら、

発音が「ディッシュズ」となって発音しにくい…

ヨーロッパで、英語と他の言語の人が交わる中で、少しずつ

発音しやすい言葉へと変わっていったようです。

なので②の変化を覚えるときも、最後が「x, sh, …」とか

じゃなくて、「sをつけて発音しにくい時」で覚えておこう。

しかし！複数形のめんどくさはここでは終わらない！

実は複数形にはさらにパターンがあるんですく( ' ^ ' )

### 3. 冠詞、名詞、代名詞



## 英語のカタチ

### 【sを使わない複数形】

#### ① 特殊な変化



**children** ← child(子ども), **men** ← man(男の人)

**women** ← woman(女の人), **feet** ← foot(足)

#### ② 単数形と複数形が同じ

**sheep**(羊), **fish**(魚), **Japanese**(日本人)など

#### ③ 数えられないもの(カタチを変えない)



**water**(水), **coffee**(コーヒー), **money**(お金)など

①の特殊な変化、なんでこんなカタチになるかというところ...  
実は、昔の英語では複数形にsのほかにはu, ru, an(en)などを後ろにつけることがありました。その名残が①のカタチとして残っているわけです。

②は単数形と複数形が同じ名詞。複数形でも単数形と同じカタチを使います。この単複同形の名詞は、羊や魚など「群れ」をつくる動物の場合が多いです。

また、英語には「数えられない名詞(=不可算名詞)」というのがあります。この名詞は「数えられない」ので、ひとつを表す「a」も、複数形の「s」もつけません。

この名詞は、**a cup of~**(カップ一杯の~)や  
**a sheet of~**(一枚の~)、**a piece of~**(一切れの~)  
などの単位をつけて数えます。

⇒ お金は「お金が1つ、2つ...」とは数えません。  
「円」や「ドル」などの単位があって数えられるので、数えられない名詞。

# 名詞の複数形 チェック問題

1. 次の ( ) の中の名詞を文に合わせて正しい形に直そう。  
ただし、そのまま形を変えない場合もあります。



- ① The book store has a lot of (dictionary).
- ② Many (child) are playing in the park.
- ③ Japanese (woman) are beautiful.
- ④ I drink two (cup) of (coffee) every day.
- ⑤ How much (money) do you have now?

store

; 店

a lot of

; たくさんの

are playing

; ~している

ところだ

2. 自分の周りを見て、「~があります。」と言ってみよう。  
「~があります。」は、「There be動詞 ~。」を使う。  
ものがひとつのときは、「There is ~。」  
ものが複数あるときは、「There are ~。」  
例に合わせて、やってみよう。

⇒ 現在進行形って?

How much ~?

; どれくらい

いくら

⇒ 「How ~」の組み

合わせ

- 例) There is a computer on the desk.  
コンピューターが机の上に一つあります。
- There are four chairs.  
イスが4つあります。
- There is a clock on the wall.  
壁に時計があります。

→ 答えはコチラ

# 3. 冠詞、名詞、代名詞

## 1. 人を表す代名詞

「代名詞」はその名の通り、「名詞に代わる」言葉。  
これまでにも、「he」や「it」などが登場。  
ここでは、この代名詞をまとめて学習していくので、  
しっかりと覚えた上で使いこなせるようになるう。



### 人を表す代名詞

- 1) I am a king.  
私が王です。
- 2) That is my country.  
あれは私の国です。
- 3) Everybody gives me treasures.  
皆が私に宝物をくれます。
- 4) The world is mine.  
世界は私のものです。



king  
; 王、国王  
country  
; 国  
everybody  
; みんな、全員  
treasure  
; 宝、財宝  
world  
; 世界

日本語では、「私が」でも「私の」でも、同じ「私」を使います。これが当たり前かと思いきや…英語をはじめとするヨーロッパの言語は、「私が」と「私の」で形が変わるのが、普通！日本語のような「に」「の」などの「助詞」が、英語にはないからなんですなー(-.-)

なので英語では、「私」や「あなた」などのそれぞれの「人称」での形(格)を覚えないとダメなんです。  
覚えた上で使いこなす！

まずは、覚えられないことには始まらないので、  
右ページの表とにらめっこして、覚えちゃってください。  
覚える時は、「I, my, me, mine」と横に読みながら、  
リズムで順に覚えていこう。

# 人を表す代名詞

## ① 単数の代名詞

単数		主格 (～は、が)	所有格 (～の)	目的格 (～を、に)	所有代名詞 (～のもの)
1 人称	私	I	my	me	mine
2 人称	あなた	you	your	you	yours
3 人称	彼	he	his	him	his
	彼女	she	her	her	hers
	それ	it	its	it	

## ② 複数の代名詞

単数		主格 (～は、が)	所有格 (～の)	目的格 (～を、に)	所有代名詞 (～のもの)
1 人称	私たち	we	our	us	ours
2 人称	あなた たち	you	your	you	yours
3 人称	彼ら				
	彼女ら	they	their	them	theirs
	それら				



# 3. 冠詞、名詞、代名詞

## 2. 格の意味と変化



### 代名詞を使った文②

- 1) We will not lose.  
私たちは負けません。
- 2) This is his room.  
これが彼の部屋です。
- 3) Let's tell him the truth.  
彼に本当のことを伝えよう。
- 4) The teacher didn't care about us.  
その先生は私たちを気にかけなかった。
- 5) The book is not only yours.  
その本はあなただけのものではない。



- will  
⇒ 未来を表す文
- lose  
; 負ける、敗れる
- Let's ~  
⇒ Let's ~ の文
- tell  
; 言う、伝える
- truth  
; 真実
- care  
; 気にする、世話をする
- about  
; ~について  
⇒ 前置詞
- only  
; ~だけ、のみ

ここからは例文を使って「格」のそれぞれの意味を確認します。きちんと正しい形で「格」を使えることが大切です。

- 1) 主格 主格はその名の通り「~は、が」と主語になる形。
- 2) 所有格 所有格は「~の」という意味を作って、その後の名詞と一緒に使われます。例文2)でも「room(部屋)」という名詞が続いています。
- 3) 4) 目的格 目的格は動作の対象(目的)になるときに使われます。3)の例文では「彼」は、「tell(伝える)」という動作の対象です。また前置詞の後でも、目的格が使われます。4)では、「about(~について)」が前置詞。
- 5) 所有代名詞 所有代名詞は「~のもの」という意味。所有格と名詞(もの)を合わせたようなイメージ。

# 人を表す代名詞



## 英語のカタチ



### 【代名詞の格変化】

①主格…**文の主語**になるときの形

I am a king.

②所有格…**名詞が後ろに続いて「~の」**

That is **my** country.

③目的格…**動作の対象(~を、~に)、前置詞のあと**

Everybody gives **me** treasures.

④所有代名詞…**「~のもの」**

The world is **mine**.

## チェック問題

次の( )の中の代名詞を正しい形に直そう。

ただし、そのままで"形を変えないときもあります。

①All students in (we) school walk to school.

②(He) favorite book is "The Old Man and the Sea".

③(They) live near kyoto station.

④A cute girl is looking at (I).

⑤Mom, the chocolate is (I).

⑥Takeshi may like (she) too.

⑦When is (you) birthday?

⑧Mr. Takeda gives (we) a lot of homework.

⑨The tower is very high. (It) height is over 600 meters.

⑩Please throw (they) away now!



all

;すべての

near

;近くに

may

;~かもしれない

⇒助動詞「may」

high

;高い

height

;高さ

over

;~以上

meter

;メートル

throw ~ away

;~を捨てる

→答えはコチラ

## 4. 疑問詞疑問文、命令文

### 1. 疑問詞を使った疑問文

入門編の「車両」の単元の最後に、ちょっと変わった文のカタチになる「**疑問詞疑問文**」と「**命令文**」を見ていきます。

疑問詞は、もう「what」や「who」を使った文で登場済み。まずはおさらいもかねて、疑問詞を使った疑問文のカタチを確認します。



### 英語のカタチ

× You have what?

疑問詞「what」は文の**最初**に

○ What do you have?

⇒あなたは何かを持っていますか。

- I have a book. (私は本を持っています。)

疑問詞を使った疑問文は、

「**疑問詞 + 疑問文の順番**」

※ただし主語をたずねるときは、**肯定文の順番**。

「what」や「who」の疑問文で勉強したように、疑問詞を使った疑問文では、**疑問詞は強調するために、文の最初にやってきます**。もともとは後ろにあった部分が文の最初に来たとき、英語では「**倒置**」がおきます。

「倒置」は簡単に言ってしまうと、文の順番が変わること。なので、疑問詞が文の最初に来たときは、「倒置」で単語の順番が変わって、疑問文の順番になるわけ。

ちょっと難しいけど、ほとんどの場合、疑問詞の後は疑問文の順番ってことを覚えよう(^0^)/

# 疑問詞疑問文



ただし！「ほとんど」で、いつもではありません(^\_^;)  
疑問詞の疑問文でも、疑問詞の後が疑問文の順番にならない  
文もあるんです。たとえばコレ。

**Who** buys such a old watch?  
(**誰が** そんな古い時計を 買うんです**か**。)



who  
: 誰  
such  
: そんな

「Who」の後、疑問文の順番になってません。この文は  
カタチで「※」に書いてあるように、**主語をたずねている文**  
**だから**、順番が変わらないんです。なぜなら…

**Some** enthusiastic fans buy it.  
(**熱狂的なファン**は 買います。)

**Who** buys such a old watch?

もともと後ろにあったものが最初に来たとき、「倒置」が  
おきるので、初めから文の最初にある主語についてきくときは  
倒置はおきない、という訳です(.-)

もう一つ！発音について。**疑問詞を使った疑問文では**  
**文の最後を下げて読みます。**普通の疑問文(Are you ~?や、  
Do you ~?など)では、文の最後は上げて言うのが決まり  
でした。要注意です！

# 4. 疑問詞疑問文、命令文

## 2. いろいろな疑問詞

### いろいろな疑問詞



1) **What** do you have in your bag?

- I have some books.

2) **Who** is he?

- He is John.

3) **When** is your birthday?

- It's April first.

4) **Where** do you live?

- I live in Toyonaka city.

5) **Why** do you walk to school?

- Because I'm on a diet.

6) **Which** do you like, baseball or soccer?

- I like baseball.

7) **How** do you go to school?

- I go to school by bus.

some

; いくつかの

April

; 4月

walk to ~

; 歩いて~へ行く

because

; なぜなら~

be on a diet

; ダイエット中

or

; ~か、または

by

; ~で

(方法・手段)

基本の疑問詞はwhat, who, when, where, why, which, howの7つ。この疑問詞を使った文を、順番に見ていきます。さっきやった文のカタチは、どの疑問詞を使っても同じだから疑問詞の意味と答え方を覚えてしまえばバッチリOKです(^^)

1) 2) はもう学習済み。 「what」は「何」、「who」は「誰」の忘れてたら要復習!

3) の「when」は「いつ」って意味、で「時」をたずねる。ここでは誕生日を聞かれているので、日付を答えています。日付をいうときの主語は「it」を使用。

4) 「where」は「どこ」の「場所」をたずねるので、「in(~で、~の中に)」を使って答えています。



5) は「why」は「なぜ」って意味で、理由を聞きます。  
 答え方はいろいろあるけど、「because(なぜなら)」を使うことが学校の問題なんかでは多いのセットで覚えておこう。

6) は「which(どちら)」を使って、選択させる文。  
 「which」の文では、文の最後に「,」をつけて、「or(〜か、または)」を使って選択肢を出すものが、多いです。例文でカタチを覚えてしまおう。

7) の「how」は、「どのように、どんな」という意味で、「方法」や「状態」をたずねます。ここでは「どのようにして学校に行ってるのか」を聞いているので、「by(〜で)」を使って、答えています。

## 4. 疑問詞疑問文、命令文

### 3. 「How ~」の組み合わせ

#### 「How ~」の組み合わせ

1) **How many** cell phones do you have?

- I have three cell phones.

いくつ携帯電話を**持っていますか**。

- 3つ持っています。

2) **How old** is Sachi's new boyfriend?

- He is 19 years old, a university student.

サチの新しい彼氏って何歳?

- 19歳、大学生だって。

3) **How high** is this building?

- It's 634 meters high.

この建物は、どれくらいの高さですか?

- 634メートルです。



cell phone

: 携帯電話

new

: 新しい

boyfriend

: 彼氏、男友達

high

: 高い

building

: 建物

meter

: メートル

「how」は他の単語と組み合わせることで、いろんな意味の疑問文をつくれます。ここではそのうちいくつかをご紹介します。

1) 「**How many ~?**」…「**いくつの~**」

数えられるものの「数」をたずねる。

同じように「much」を使うと、数えられないものの「量」や金額をきく疑問文になります。

2) 「**How old ~?**」…「**何歳~**」⇒年齢をたずねる。

たずねる時は、人を選んでたずねよう(^\_^;) )

3) 「high」は「高い」という意味なので、

「**How high ~?**」で建物などの高さをたずねます。

身長なんかを聞きたい場合は「**How tall ~?**」で。

# 4. 疑問詞疑問文、命令文

## 1. 命令文

それじゃあちよっと変わったカタチの文、第2弾。  
**命令文**です。なんと命令文では、今まで鉄則だった「主語+動詞」の「主語」がなくなります(\*\_\*)  
まあでも意味を考えると、自然な話なんです。



### 命令文

- 1) **Study** English.  
英語を勉強しなさい。
- 2) **Be** quiet, Tom.  
静かにしなさい、トム。



quiet  
; 静かな

英語の文には必ず主語が付いてたけど、上の例文では主語がありません。なぜなら…命令文では主語が必ず「You (あなた/あなたたち)」になるので主語を書く必要がないから。

つまり、**主語をなくして動詞の原形を文の先頭に持ってきたカタチが命令文**ってことになります。

「動詞の原形」とは、前に勉強した「三単現のs」などをとった、そのままのカタチの命令文のときは、この「s」を取った動詞だけを文の最初にもってくればいーおけです。

2) では、命令文の後に「,」をおいて、うるさい「Tom」によびかけて、黙らせようとしています。最初の「Be」は「is/am/are」、be動詞の原形です。be動詞の原形は「be」になります。「quiet」は「静かな」って意味の形容詞なので、その前にbe動詞を入れないといけません。

戻って復習!!

一度**be動詞**について復習しておいたほうがいいかも。





## 英語のカタチ

He studies English.

主語 動詞

Study English.

動詞の原形

⇒ 英語を勉強しなさい。

命令文「～しなさい。」は、

動詞の原形から始める。

つぎのページからは、命令文にちょっと単語を足すだけで  
できる、お願いや禁止（～するな）の表現を勉強します。  
強調してしゃべるので、映画などでも聞き取りやすいはず(-.-)

# 4. 疑問詞疑問文、命令文

## 2. お願い・禁止・お誘いの文

### お願い・禁止・お誘いの文

- 1) Please give me your chocolate.  
あなたのチョコレートをください。
- 2) Don't touch me.  
私にさわるな(さわってはいけません)。
- 3) Let's go to the mountain.  
- Yes, let's. / No, let's not.  
その山へ行きましょう。



chocolate  
; チョコレート  
touch  
; さわる  
mountain  
; 山

上の例文を見て、ややこしそうだと思う人！安心して  
ください(^o^)/ぜんぶ、さっき勉強した命令文にオマケが  
ついただけなんです。カタチで確認してみます。



### 英語のカタチ



- Open the window. ⇒ 窓を開けなさい。
- Please open the window. ⇒ 窓を開けてください。
- Don't open the window. ⇒ 窓を開けてはいけません。
- Let's open the window. ⇒ 窓を開けましょう。
- 
- Please + 命令文. ⇒ ~してください。
- Don't + 命令文. ⇒ ~してはいけません。
- Let's + 命令文. ⇒ ~しましょう。

知りたい!!!

この命令文を使った  
3つの表現は「can」  
や「will」などの  
助動詞を使った表現  
で言いかわらる  
んです。

# 疑問詞、命令文 チェック問題

<p>1. 次の会話文の ( ) に正しい疑問詞を入れよう。</p> <p>① ( ) are you from? - I'm from Los Angeles.</p> <p>② ( ) is the weather in Osaka? - It rained in the morning, but it's fine now.</p> <p>③ ( ) is your favorite movie? - My favorite movie is "Hurry Potter".</p> <p>④ ( ) dose your class start? - Our class starts at nine.</p> <p>⑤ ( ) is John absent from school? - Because he is sick.</p>	 Los Angeles ; ロサンゼルス rain ; 雨、雨が降る fine ; ①元気な ②晴れた class ; クラス、授業 be absent from ~ ; ~を欠席する
<p>2. 自分のことについて、次の英語の質問に答えよう。</p> <p>① How old are you? - I'm _____ years old.</p> <p>② Where do you live? - I live in _____.</p> <p>③ When is your birthday? - My birthday is _____.</p> <p>④ What sport do you like? - I like _____.</p>	because ; なぜなら sick ; 風邪の、病気の sport ; スポーツ
<p>3. 日本語の意味に合うように、下の ( ) をうめよう。</p> <p>① ここで写真を撮ってはいけません。 ( ) ( ) pictures here.</p> <p>② 一緒にパーティに行きましょう。 ( ) ( ) to the party.</p> <p>③ お年寄りには優しくしなさい。 ( ) kind to old people.</p>	take a picture ; 写真を撮る here ; ここに、ここで kind to ; ~に優しい → 答えはコチラ

# 5. 過去形の文

## 1. be動詞の過去形



ここからは、もう1度エンジン、つまり動詞の話。英語では、時間の変化を動詞の部分をかえて表すのさ！これが終われば、入門編は終わり！

まずは過去の話。日本語では「～た」などで、過去を表すけど、英語では動詞の「**過去形**」を使って表します。



### be動詞の過去形

- 1) I **am** fine now, but I **was** sick yesterday.  
私は今元気ですが、昨日は風邪でした。
- 2) You **were** very kind.  
君はとても親切**だった**。
- 3) He **is** Mari's boyfriend now, but he **was** mine.  
彼は今マリの彼氏だけど、私の彼**だった**の。

be動詞は「①～です、②～がある(いる)」って意味で状態や性質を表します。その過去形なので、意味は、「**～だった、～があった(いた)**」となります。そのまんま。英語では動詞を過去形にすれば、過去が表せます。be動詞の過去形は、たった二つだけ(^o^)/ 「am, is」の過去形が「**was**」。 「are」の過去形は「**were**」です。これだけはしっかり覚えておこう。



mine

；私のもの

⇒ 人を表す代名詞



**戻って復習!!**

現在形の**be動詞**

(am, are, is)の  
使い分けも復習して  
おこう。



## 英語のカタチ

過去の文では、動詞を過去形に。

am/is → **was** are → **were**

# be動詞の過去形

## 2. 疑問文と否定文



### 疑問文と否定文

1) **Were** you at my birthday party last month?

- Yes, I **was**. / No, I **was not** [**wasn't**].

君は先月の僕の誕生日パーティーにいたの？

2) You **were not** [**weren't**] honest before.

お前は昔、素直じゃなかったよ

過去形のbe動詞疑問文/否定文のカタチは現在形と同じ。  
違うのは、be動詞が過去形になっていることだけ！



### 英語のカタチ



#### 【疑問文】

**Were** you at my birthday party?

- Yes, I **was**. / No, I **was not** [**wasn't**].

#### 【否定文】

You were **not** [**weren't**] honest.

**be動詞型のカタチは同じ。**

疑問文 → be動詞を文の最初に出す。

否定文 → be動詞の後に「not」を入れる。



birthday

；誕生日

party

；パーティー

last

；前の

month

；月

wasn't

；was notの短縮形

weren't

；were notの短縮形

honest

；素直な、正直な

before

；昔、以前

# be動詞の過去形 チェック問題

1. 日本語の意味に合うように、下の( )をうめよう。

①あなたは昨日学校を休んでましたね。

You ( ) absent from school yesterday.

②ヨシオは昔人気があった。

Yoshio ( ) popular for a long time ago.

③それらはただの石ころだった。

They ( ) just stones.



be absent from ~

; ~を休む、  
欠席する

popular

; 人気のある

a long time ago

; ずっと昔

just

; ただの、  
ちょうど

stone

; 石

be good at ~

; ~が得意だ

pure

; 純粋だ

kid

; 子ども

fat

; 太っている

thin

; やせている

smart

; 賢い

funny

; おもしろい

running, singing

⇒ 動名詞

→ 答えはコチラ

2. 次の文をそれぞれ疑問文にして、答え方も考えよう。

①He was good at swimming.

⇒ 疑問文( )

⇒ 否定文( )

②They were pure when they were kids.

⇒ 疑問文( )

⇒ 否定文( )

3. 次の単語の意味を使って、自分の過去のことを  
言ってみよう。分からない単語は調べるべし。

cute, fat, thin, tall, smart, funny  
be good at ~, ~ boy, ~ girl, ~ baby

例) I was a cute baby.

I was a fat boy.

I was tall.

I was good at running.

I was good at singing.

# 5. 過去形の文

## 1. 英語で「過去」はどう表す？

be動詞の過去形の文があるように、一般動詞の文にももちろん過去形のカタチがあります。

be動詞の過去形は2つだけだったけど、一般動詞の過去形の作り方は大きく2つあります。まずはカンタンなほうから。



### 過去形の表し方

- 1) I play tennis every day.  
私はテニスをします。
- 2) I played tennis yesterday.  
私は昨日テニスをしました。
- 3) He played tennis last Sunday.  
彼は前の日曜日テニスをしました。

1) の現在形の文は「現在の習慣や状態」を表すもの。2) や3) が、過去形の文。1) との違いは…動詞の後ろについている「ed」。一般動詞のほとんどは、動詞の最後に「ed」をつけて過去形をつくります。3) のように、「s」があるときは、「s」をとって「ed」をつけるので、注意。



### 英語のカタチ

He plays tennis every day.  
↓ 過去の話になると…  
He played tennis last Sunday.

過去を表す文では、動詞を「過去形」にする。

# 一般動詞の過去形

三単現の「s」みたいなもんかあ…

そうなるよ、もしかして三単現の「s」みたいに特殊な「ed」のつけ方もあるんじゃないか…ってやっぱりあるのね(+\_+)

戻って復習!!

三単現の「s」のつけ方忘れちゃった! はい、復習!  
⇒ 三単現の「s」



## 英語のカタチ

### 【過去形の“ed”のつけ方】

①ふつうは、「ed」。

例; talk → talked、play → played

②最後が「e」の動詞は、「d」をつける。

例; live → lived、like → liked

③最後が「子音字+y」の動詞は、

「y」を「i」に変えて「ed」をつける。

例; study → studied、try → tried

④最後が「短母音+子音字」は、1字重ねて「ed」。

分かりにくいので、重ねる動詞は覚えてしまおう!

例; stop → stopped

②はもともと「e」があるから「d」を足すだけ。

③と④は見た感じやっかい…だけど、これのカタチは

三単現のsでもう勉強したものと同様。



## 5. 過去形の文

カタチの次は発音の決まりを覚えよう。

- ① 語尾が「ク、チ、フ、シュ」などの無声音 → トウ(+)  
work → worked (ワークトウ)
- ② 語尾が「トウ、ドウ(+、d)」 → イド(id)  
need → needed (ウオンテイド)
- ③ その他の音(有声音) → ドウ(d)

過去形の「ed」はたいてい「ドウ」って発音されます。  
けど、中には「ニードドウ」みたいに「ドウ」じゃ発音が  
しにくいものも…。そういうのが①とか②です。

①や③の無声音、有声音って言葉は、初登場のはず。  
無声音っていうのは「k」「p」「t」みたいに発音するとき  
のどが震えないもの。逆に有声音は「d」「g」「v」みたいに  
震えるもの。実際にのど仏を触りながら発音してみると…  
わかったかな？

イマイチ分からん…ってなると思うので…(^\_^;) )

それぞれの単語を何度も発音して、決まりを自然に身につけた  
ほうがいいね。

# 一般動詞の過去形

## 2. 不規則変化の動詞

実はここまで見てきた動詞の変化を「規則変化」って言います。ってことは…「不規則な変化」をする動詞もあるわけですね(´\_`)



### 英語のカタチ

I **go** to school every day.

↓ 過去の話になると…

I **went** to school last week.

He **makes** a cake.

↓ 過去の話になると…

He **made** a cake last month.

**不規則変化の動詞は、一つ一つ暗記！！**

不規則っていう名前の通り、こいつらの変化にはルールがありません。なので、ここはひたすら暗記するのみ！

例えば、

run(走る) → **ran**

eat(食べる) → **ate**

read(読む) → **read**

こんな具合です。少し、変わるものや全く変わるもの、そして、全く変化しないものまであります。ここで例にした過去形の「read」は発音が「レッド」となります。めんどくさいけど、必ずここで覚えてしまおう(^0^)/

# 5. 過去形の文

## 3. 疑問文と否定文



### 疑問文と否定文

- 1) Did you see the movie?  
- Yes, I did. / No, I did not [didn't].  
あなたはその映画をみましたか。
- 2) She did not [didn't] practice hard.  
彼女は一生懸命練習しませんでした。



movie  
: 映画  
Practice  
: 練習する  
hard  
: 一生懸命に

過去形の疑問文/否定文は、現在形のとときに「do」や「does」だったのを、「do」の過去形「did」に変える。三単現のとときの「dose」のように、「do」が過去形になったので動詞は原形になっていることにも注意しておこう。

規則変化の動詞でも不規則な変化の動詞でも、このルールは変わりません(^\_^)



戻って復習!!

現在形の一般動詞の疑問文と否定文が心配なら復習だ!



## 英語のカタチ

### 【疑問文】

- Did you watch the movie?  
- Yes, I did. / No, I did not [don't].

### 【否定文】

You did not [didn't] go to cram school.

過去形の疑問文/否定文は、「did」を使う。

# 不規則変化動詞 まずは50語

現在形		過去形	過去分詞形
1. be	am / is ~である are	was were	been
2. begin	始まる、始める	began	begun
3. catch	つかむ、とる	caught	caught
4. come	来る	came	come
5. do	する	did	done
6. eat	食べる	ate	eaten
7. feel	感じる	felt	felt
8. find	見つける	found	found
9. get	得る、~になる	got	got
10. give	あげる、与える	gave	given
11. go	行く	went	gone
12. have	持っている	had	had
13. hear	聞こえる	heard	heard
14. keep	保つ、~にしておく	kept	kept
15. know	知っている	knew	known
16. make	つくる	made	made
17. meet	会う	met	met
18. read	読む	read	read
19. run	走る	ran	run
20. say	言う	said	said
21. see	見る、見える	saw	seen
22. take	とる、つれていく	took	taken
23. teach	教える	taught	taught
24. tell	言う、伝える	told	told
25. think	考える、思う	thought	thought

# 不規則変化動詞 ついで"に50語

現在形		過去形	過去分詞形
1. become	～になる	became	become
2. break	壊す、壊れる	broke	broken
3. bring	持ってくる	brought	brought
4. build	建てる	built	built
5. buy	買う	bought	bought
6. cut	切る	cut	cut
7. drive	運転する	drove	driven
8. fall	落ちる	fell	fallen
9. forget	忘れる	forgot	forgotten
10. leave	出発する	left	left
11. lose	失う、負ける	lost	lost
12. mean	意味する	meant	meant
13. put	置く	put	put
14. ride	乗る	rode	ridden
15. show	見せる	showed	shown
16. sing	歌う	sang	sung
17. sit	座る	sit	sit
18. sleep	眠る	slept	slept
19. speak	話す	spoke	spoken
20. spend	費やす、過ごす	spent	spent
21. stand	立つ	stood	stood
22. swim	泳ぐ	swam	swum
23. throw	投げる	threw	thrown
24. understand	理解する	understood	understood
25. write	書く	wrote	written

# 一般動詞の過去形 チェック問題

1. 次の文を過去形にしてみよう。

① I wash some dishes.

⇒ I ( ) some dishes yesterday.

② Bob studies Japanese.

⇒ Bob ( ) Japanese last summer.

③ Tatsuya rents CDs every week.

⇒ Tatsuya ( ) CDs last week.

④ I run fast.

⇒ I ( ) fast 10 years ago.

⑤ He eats some takoyakis.

⇒ He ( ) some takoyakis yesterday.



summer

; 夏

rent

; (お金を払って)  
借りる

fast

; 速く

ago

; ~前

2. 次の文をそれぞれ疑問文、否定文にしよう。

① You wanted a new bike.

⇒ 疑問文 ( )

⇒ 否定文 ( )

② He played soccer last Wednesday.

⇒ 疑問文 ( )

⇒ 否定文 ( )

bike

; 自転車

Wednesday

; 水曜日

a lot of

; たくさんの

3. 一般動詞の過去形を使って、昨日、先週、先月、去年のことをいろいろ言ってみよう。

例) I played baseball yesterday.

I gave him a present last week.

I met him last month.

I read a lot of books last year.

→ 答えはコチラ

# 6. 進行形

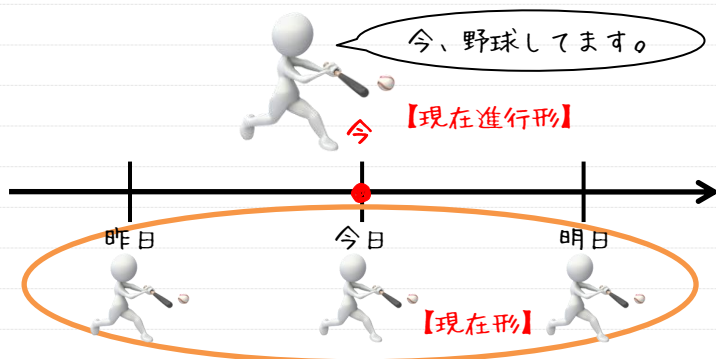
## 1. 現在進行形って？

「私は今野球をしているところです。」  
これを英語にしようと思うと、実は今までの現在形の文ではダメなんです。現在形の文は、現在の状態や習慣について言えるけど、「今ちょうどしていること」について言うことはできません。英語では、「今ちょうどしていること」は現在進行形で表します。



### 現在形の文

- 1) Ichiro plays baseball every day.  
イチローは毎日野球をします。
- 2) He **is playing** baseball now.  
彼は今野球をしているところです。



1) の現在形の文では、「毎日野球をする」という現在の習慣を表しています。それと比べて、この文を現在進行形で表した2) の文では、「今(ちょうど)野球をしている」という、現在の動作を言ってるわけです(-.-)違い大丈夫？

現在進行形の文は、元あった動詞の前にbe動詞を入れ、そのあと一般動詞に「ing」をつけた形で表します。

# 現在進行形



## 英語のカタチ



I play baseball everyday. 【現在形】

+ing

I am playing baseball now. 【現在進行形】

⇒ 私は今野球を**しているところ**です。

現在進行形「～しているところですよ。」

⇒ **be動詞 + ~ing**

現在進行形の考え方、しっかりつかめた？

…が、実は進行形の文を作れない動詞があるんです(^\_^;)

それは、have (持っている)、know (知っている) などの**状態動詞**とよばれるもの。

たとえば、次の文を進行形にしてみると…

He knows the secrets of our teacher.

彼は私たちの先生の秘密を知っています。

↓

(X) He **is knowing** the secrets of our school.

彼は私たちの先生の秘密を**知っているところ**ですよ。

なんかおかしい。「**知っている**」という言葉に、

もう「**～ている**」という状態の意味が入っているので、

「know」は進行形だと変になるんです。こんなふうに、

**状態動詞を使った文は、進行形にしません。**



know

; 知っている

secret

; 秘密

our

; 私たちの

⇒ 人を表す代名詞



## 6. 進行形

### 2. 「ing」のつけ方



#### 「ing」のつけ方

- 1) Tama is **coming** to the park.  
タマは公園に来ているところです。
- 2) Pochi is **swimming** in the river.  
ポチは川を泳いでいるところです。

ん？上のタマとポチの文では、さっきの例文と「ing」のつけ方が違います。実は「ing」のつけ方には、「三人称・単数・現在形の"s"」と同じように、動詞によって変わった形のものがあるんです。ミスしやすいとこなので要注意！！

戻って復習！！

「三人称・単数・現在形の"s"」でピンと来なかったら戻って確認！

⇒ 三単現の"s"



#### 英語のカタチ

##### 【現在進行形"ing"のつけ方】

- ①ふつうは、「ing」をつけるだけ。  
例: eat → eat**ing**, play → play**ing**
- ②最後が「e」の動詞は、「eを消してing」。  
例: come → com**ing**, make → mak**ing**
- ③最後が「短母音+子音字」は、1字重ねて「ing」。  
分りにくいので、重ねる動詞は覚えてしまおう！  
run → run**ning**, swim → swim**ming**  
stop → stop**ping**, sit → sit**ting**,  
get → get**ting**

# 現在進行形

## 3. 疑問文と否定文



### 疑問文と否定文

1) Is Satoshi going to the mountain?

- Yes, he is. / No, he is not [isn' t].

サトシはその山に行ってるところですか。

2) Satoshi is not going to the mountain.

サトシはその山に行ってるところではありません。

上の例文は、現在進行形の疑問文と否定文。疑問文では、「is」が文の最初に来て、否定文では「is」の後に「not」が入っています。このカタキどこかで見た気が...  
そう、be動詞の文！現在進行形の文は、be動詞が入っているのだからbe動詞の文と同じ疑問文や否定文のつくり方をします。



戻って復習！！

be動詞の疑問文や否定文が分からなかったら、ちょっと重症です( )\_( )  
急いで復習だ。



### 英語のカタキ

#### 【疑問文】

Is Satoshi going to the mountain?

- Yes, he is. / No, he is not [isn' t].

#### 【否定文】

Satoshi is not going to the mountain.

現在進行形は、be動詞型。be動詞型のカタキは同じ。

疑問文 → be動詞を文の最初に出す。

答え方もbe動詞のときと同じ。

否定文 → be動詞の後に「not」を入れる。

# 6. 進行形

## 1. 「過去」が「進行」?

ここでは「過去進行形」について、学習します。  
…ん? 「過去進行形」? 「過去」が「進行」するって、  
どういうこと? 「現在進行形」ならわかるけど…というわけで  
まずは「過去進行形」のイメージを頭に入れていきます。



### 過去進行形

- 1) He **runs** every morning.  
彼は毎朝走ります。
- 2) He **is** running now.  
彼は今走っているところです。
- 3) He **ran** every morning when he was a student.  
彼は学生の時、毎朝走っていました。
- 4) He **was** running when I saw him in the park.  
私が公園で彼を見た時、彼は走っていました。



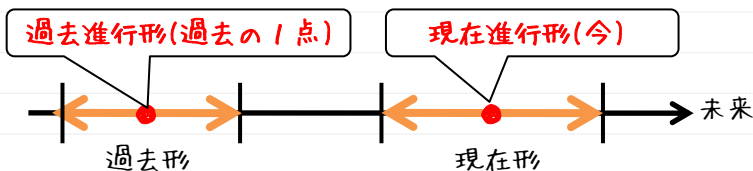
when

: ①いつ

⇒ 疑問詞疑問文

②~(する)時

例文2)のように現在進行形は「たった今している動作」を表すときに、例文1)の現在形は「現在の習慣や状態」を表すために使います。



過去進行形のイメージもこれと同じ。例文4)のように、「私が彼を見た時(when I saw him)」という「**過去のある時点での動作を表す**」のに使います。過去形は、現在形と同じように過去の習慣や状態を表すのが普通です。使い分けが難しく感じるかもしれないけど、少しずつ慣れて身につけていこう。

# 過去進行形

それじゃあ、過去進行形の文のカタチ。過去進行形は、その名のとおりに「過去の進行形」。現在進行形のbe動詞の部分を過去形にしてあげれば、OKです。



## 英語のカタチ



### 【過去形】

He **ran** every morning when he was a student.

### 【過去進行形】

He **was** running when I saw him in the park.  
**+ ing**

⇒ 私が公園で彼を見た時、彼は走っていました。

過去進行形「～していました。」

⇒ **be動詞の過去形 + ~ing**

## 6. 進行形

### 2. 疑問文と否定文



#### 疑問文と否定文

- 1) Was he walking with Erika?  
- Yes, he was. / No, he was not [wasn't].  
彼はエリカと歩いていたの？
- 2) They were not talking with each other.  
彼(女)らはお互い話していませんでした。



talk with ~  
; ~と話す  
each other  
; お互い

見たらすぐ気付いたかな？これいつもの**be動詞タイプ**の疑問文と否定文。疑問文はbe動詞を文の最初に、否定文はbe動詞の後に「not」のカタチをさらっと確認しておこう。



#### 英語のカタチ

##### 【疑問文】

Was he walking with Erika?  
- Yes, he was. / No, he was not [wasn't].

##### 【否定文】

They were not talking with each other.

過去進行形は、be動詞型。

be動詞文のカタチは同じ。

疑問文 → be動詞を文の最初に出す。

答え方もbe動詞のときと同じ。

否定文 → be動詞の後に「not」を入れる。

# 進行形 チェック問題

1. 日本語の意味に合うように、現在形、過去形、  
現在進行形、過去進行形を使い分けて下線部をうめよう。



①私は今パソコンを使っています。

I \_\_\_\_\_ PC now.

use

; 使う

②そのとき兄は寝ていました。

My brother \_\_\_\_\_ then.

sleep

; 眠る

③私たちも10年前は学生でした。

We \_\_\_\_\_ students 10 years ago.

come home

; 帰宅する

④彼は野球が好きです。

He \_\_\_\_\_ baseball.

strange

; おかしな、

⑤私が家に帰った時、怪しい男がイスに座っていたんです。

When I came home, a strange man \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ on the chair.

; あやしい

sit

; 座る

2. 次の文をそれぞれ疑問文、否定文にしよう。

①You are walking to the station now.

⇒疑問文( )

⇒否定文( )

station

; 駅

②He was searching funny videos on YouTube.

⇒疑問文( )

⇒否定文( )

search

; 探す、

検索する

funny

; おかしい、

おもしろい

3. ストップ! 今ちょうど自分がしていること、

家族や周りの人がしていることを、現在進行形で表そう。

例) I am studying English now.

My mother is cooking at the kitchen.

Pochi was sleeping in his house.

My sister is singing songs loudly.

→答えはコチラ

# 7. 未来を表す文

## 1. 未来を表す文 ; will

人間、過去ばかり振りかえってたら、前に進めません(-.-)  
続いては、未来のことを表す方法を見ていきます。



### 「will」を使った文

- 1) Noriaki calls me every night.  
ノリアキは、毎晩私に電話します。
- 2) Noriaki **will** [He' ll] **call** me tomorrow.  
ノリアキは、明日私に電話**する**でしょう。



call

: 電話する

every

: すべての、毎~

night

: 夜

英語には動詞の未来形はなく、未来の文は「will」という単語を使って表します。

この「will」は「助動詞」というグループの単語。

**助動詞は動詞の前において、動詞に意味を足します。**

このとき、**動詞は原形にすること**に注意!

「will」は未来の意味を足して、「~(する)つもりです。」、

「~(する)でしょう。」と訳します。



## 英語のカタチ



Noriaki calls me every night. 【現在形】

Noriaki **will** call you tomorrow. 【未来の文】

動詞の原形

⇒ ノリアキは明日私に**電話する**でしょう。

未来を表す文「~(する)でしょう。」

⇒ **will + 動詞の原形**

# 未来を表す文

## 2. will の疑問文と否定文



### 疑問文と否定文

- 1) Will he play baseball this afternoon?  
- Yes, he will. / No, he will not [won't].  
彼は今日の午後に野球をするつもりですか。
- 2) He will not [won't] be busy next Sunday.  
彼は次の日曜日忙しくないでしょう。

助動詞を使った文では、be動詞の文と同じように考えて、疑問文や否定文をつくりまします。つまり…

疑問文では「will」を文の最初に持ってきて、否定文では「will」の後に「not」を入れるだけ。「will not」の短縮形「won't」も覚えておこう。

後からでてる他の助動詞でも、同じようにして疑問文や否定文をつくるので、この文のカタチは覚えておこう。



this afternoon  
; 今日の後  
won't  
; will notの  
短縮形  
Sunday  
; 日曜日



### 英語のカタチ

#### 【疑問文】

- Will he play baseball this afternoon?  
- Yes, I will. / No, I will not [won't].

#### 【否定文】

She will not [won't] swim tomorrow.

疑問文 → 「will」を文の最初に出す。

否定文 → 「will」の後に「not」を入れる。

知りたい!!

「will」には未来を表す以外にも、使い方があります。  
⇒ 助動詞「will」



# 7. 未来を表す文

## 3. 未来を表す ; be going to

未来を表す方法は「will」だけではないんです。be動詞を使って「be going to」というカタチでも未来を表すことができます。「will」に比べて「be going to」は、前から決めていたはっきりした予定などに使うことが多いのが特徴。



### 「be going to」を使った文

- 1) I **am going to visit** London next week.  
私は来週ロンドンを訪れるつもりです。
- 2) He **is going to dance** with his mother tonight.  
彼は今夜母親と踊るでしょう。



visit  
: 訪れる  
dance  
: 踊る  
tonight  
: 今夜

ややこしそうに見えるけどカタチはカンタン。

「be going to」を動詞の前において、**動詞を原形**にするだけ。もちろんbe動詞の部分は、主語に合わせて変わります。



### 英語のカタチ

I visit London. 【現在形】

I **am going to visit** London next week. 【未来の文】

未来を表す文「~(する)でしょう。」

⇒ **be going to + 動詞の原形**



戻って復習!!

「be動詞」をどんなふうに変えるか、忘れてしまった人は**be動詞**で確認!

# 未来を表す文

## 4. be going to の疑問文と否定文



### 疑問文と否定文

- 1) Are you going to stay up all night?  
- Yes, I am. / No, you I am [I'm] not.  
あなたは一晩中起きておくんですか。
- 2) They are not going to finish their homework.  
彼らは宿題を終わらせないでしょう。

「be going to」の疑問文・否定文は、be動詞を使っている  
ので、これまでに学習したbe動詞の文とカタチは同じ。

疑問文はbe動詞を文の先頭に持ってきて、否定文では  
be動詞の後ろに「not」をつけるだけです。



stay up  
: 起きておく

all  
: すべての

finish  
: 終わらせる

their  
: 彼(女)らの、  
それらの

⇒ 人を表す代名詞



### 英語のカタチ

#### 【疑問文】

Are you going to stay up all night?

- Yes, I am. / No, I am [I'm] not.

#### 【否定文】


They are not going to finish their homework.

「be going to」は、be動詞型。  
be動詞型のカタチは同じ。

疑問文 → be動詞を文の最初に出す。  
答え方もbe動詞のときと同じ。

否定文 → be動詞の後に「not」を入れる。

# 未来を表す文 チェック問題

1. 次の文を【 】内の語を足して、未来の文にしよう。	
① I go to school by bus. 【 tomorrow 】 _____.	by ; ①〜で(手段)
② The musician doesn't visit Osaka. 【 next month 】 _____.	②〜によって ③〜のそばに
③ They are high school students. 【 April 】 _____.	musician ; ミュージシャン
④ Do you practice soccer? 【 next weekend 】 _____?	音楽家 next ; 次の
2. 次の文をそれぞれ疑問文と否定文にしよう。	month ; 月
① They will have a dinner at the restaurant. ⇒ 疑問文( ) ⇒ 否定文( )	weekend ; 週末
② The plane is going to leave at nine o'clock. ⇒ 疑問文( ) ⇒ 否定文( )	restaurant ; レストラン leave ; 出発する
3. 明日、来週、来月、来年の自分の予定を英語で言おう。	
例) I will go to school tomorrow. I'm going to visit my grandparents next week. I will go to the sea next month. I will be 15 next year.	grandparents ; 祖父母  → <u>答えはコチラ</u>

# 8. 現在完了形

## 1. 「現在」が「完了」って？

これまでに学習した現在形や過去形。これは日本語にもある考え方でした。ここで新しく勉強する「現在完了形」は、ちょっと日本語ではみかけないもの(+、+)  
まずはしっかり「現在完了」の考え方を理解しよう。



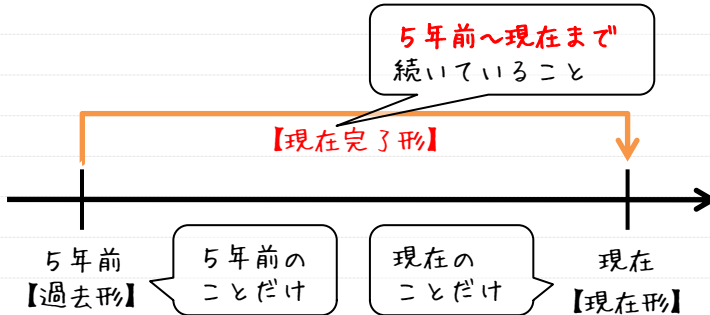
### 現在完了形

- 1) Ryoma lives in Kochi.  
リョーマは高知に住んでいます。
- 2) Ryoma lived in Kochi five years ago.  
リョーマは5年前、高知に住んでいました。
- 3) Ryoma **has lived** in Kochi for five years.  
リョーマは高知に5年間**住んでいます**。

まずはおさらいの現在形。1)の現在形の例文では、「リョーマが高知に住んでいる」という**現在の状態**を表しています。三単現になっているので「s」が動詞についています。

次に2)の過去形は、**過去の状態**を表したものの動詞を過去形にする必要アリでした。

現在完了形はというと…下のイメージのように、「**過去の**ある時点から**現在まで影響している**」ことを表します。



# 現在完了形

「いやいや、よくわかりません」という人の  
それで当然です。日本語では別に「現在まで続いている」から  
って特別扱いはしないので、いまいちピンとこないものです。  
こういうものは、慣れが大切。というわけで、ここでは  
現在完了形のカタチだけおさえて、後から順番に現在完了形が  
つくる**完了・継続・経験の3つの意味(用法)**で、具体的な例を  
見ていきます。

現在完了形は動詞の部分を、「**have(has) + 過去分詞**」に  
変えるだけの主語が三人称のときには「has」にします。  
過去分詞は、動詞の原形、過去形につづくるための形。  
これも過去形と同じように覚えてないといけません。  
なるべく早く覚えてしまおう。→[不規則変化動詞の表](#)



## 英語のカタチ



Ryoma **lives** in Kochi.

Ryoma **has** **lived** in Kochi for five years.  
**have(has) 過去分詞**

現在完了形は、**have(has) + 過去分詞**

# 8. 現在完了形

## 2. 疑問文と否定文

3つの用法に行く前に…なんか忘れてませんか? (-.-)  
いつもの疑問文と否定文。用法を見ていくときに、疑問文や否定文もでてくるので、先にそのカタチだけおさえておこう。



### 疑問文と否定文

1) Ryoma **has lived** in Kochi for five years.

リョーマは高知に5年間**住んでいます**。

2) **Has** Ryoma **lived** in Kochi for five years?

- Yes, he **has**. / No, he **has not** [hasn' +].

リョーマは高知に5年間**住んでいますか**。

3) Ryoma **has not** [hasn' +] **lived** in Kochi.

リョーマは高知に**住んでいません**。



haven' +

; have notの  
短縮形

hasn' +

; hasn' +の  
短縮形

カタチは見ての通り。疑問文は「have(has)」を文の最初に持ってくるだけ。答える時も「have(has)」を使います。否定文は「have(has)」と過去分詞の間に「not」を入れます。



### 英語のカタチ

#### 【疑問文】

**Has** Ryoma **lived** in Kochi for five years?

#### 【否定文】

Ryoma has **not** [hasn' +] **lived** in Kochi  
for five years.

疑問文「have(has)」を文の最初に出す。

否定文「have(has)」の後ろに「not」を入れる。

# 現在完了形

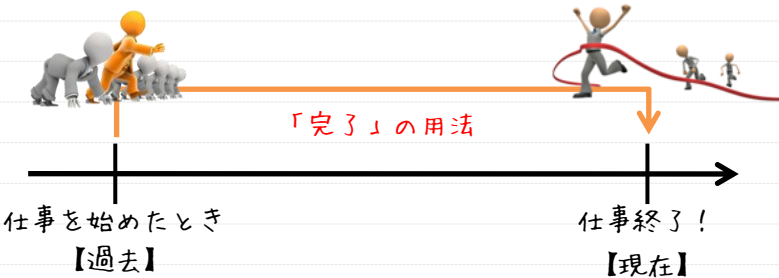
## 3. 「完了」の用法

### 「完了」の用法



- 1) Ryoma **has already finished** his work.  
リョーマは彼の仕事を**すでに**終わりました。
- 2) Has Ryoma finished his work **yet**?  
リョーマは**もう**彼の仕事を**終えた**んですか？
- 3) Ryoma **has not finished** his work **yet**.  
リョーマは**まだ**彼の仕事を**終わって**いません。

まず一つ目は「完了」の用法。これはその名の通り、**過去から始まった動作や状態が、ちょうど完了したことを表す**ときに使います。例文1)で言うと、仕事を始めた**過去**のときから、仕事が終わった**現在**まで「仕事をしている」状態が続いているので、現在完了形になるわけです。



現在完了形をマスターするのに欠かせないのが、3つの用法それぞれで使われる「**タイムワード**」。

タイムワードを攻略するポイントは、次の3つ。

- ① **タイムワードの意味**
- ② **肯定文、疑問文、否定文のどの文で使われるか**
- ③ **文のどの位置で使われるか**

それぞれの用法のタイムワードをしっかりと覚えよう(^0^)/

## 8. 現在完了形

「完了」用法でのタイムワードは、「just」、「already」、「yet」の3つの例文と照らし合わせながら、確認しよう。

タイムワード	意味	使われる文	文中での位置
just	ちょうど	肯定文	haveと過去分詞の間
already	すでに	肯定文	haveと過去分詞の間
yet	もう(疑問) まだ(否定)	疑問文 否定文	文の最後



# 現在完了形

## 4. 「継続」の用法

### 「継続」の用法



- 1) Ryoma **has lived** in Kochi **for** five years.  
リョーマは高知に5年間**住んでいます**。
- 2) **Has** Ryoma **lived** in Kochi **since** last year?  
リョーマは**去年から**高知に**住んでいる**んですか？
- 3) **How long** has Ryoma lived in Kochi?  
**どれくらい**リョーマは高知に**住んでいる**んですか？



last

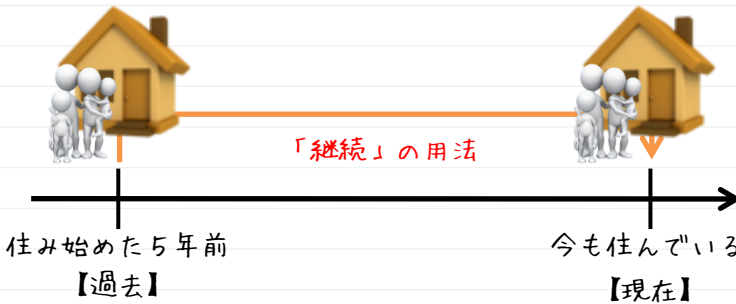
- : ①前の
- ②最後の

How long ~?

: どれくらいの間

次に「継続」の用法。継続用法は、**過去から始まった動作や状態が、現在までずっと続いていることを表します。**

例文1) では、高知に住み始めた5年前から「住んでいる」状態が今も続いているので現在完了形を使うわけです。



それじゃあ、継続用法のタイムワードを紹介します。

タイムワード	意味	使われる文	文中での位置
for	~の間	すべての文	文の最後 (期間の前)
since	~から	すべての文	文の最後 (時点の前)

## 8. 現在完了形

少し難しいのが、「for」と「since」の使い分け。

「for」の後にくる「期間」は、「〇年間」や「一日中」、「夏休み」など、時間の長さを表す言葉のこと。

「since」の後にくる「時点」は、「昨日」や「2003年」など時の1点を表す言葉です。

例文3) も継続用法がよく出てくる疑問文のカタチ。

「How long + 疑問文の順番 ~?」で「期間」や「時点」をきく「どれくらいの間~?」って意味になるんです。答える時は、現在完了形で「since」や「for」を使って答えます。

# 現在完了形

## 5. 「経験」の用法

### 「経験」の用法



- 1) Ryoma **has been to** kyoto **five times**.  
リョーマは**5回**京都に**行ったことがあります**。
- 2) **Has Ryoma ever been to** America?  
リョーマは**今まで**アメリカに**行ったことがありますか**？
- 3) Ryoma **has never been to** America.  
リョーマはアメリカに**行ったことはありません**。

最後は「経験」の用法。「～したことがある。」っていう**経験も過去から現在までに重ねてきたこと**なので、**現在完了形で表すことができます**。例文1)では、1回目に京都に行った**過去のときから、現在までに5回**京都に行った**経験が続いている状態**。



例文で使われている「have(has) been to」は、「～に行ったことがある」という意味になります。「go(～へ行く)」を使って「**have(has) gone to**」ってすると、「～へ行ってしまった」という「完了」の意味に。「**経験**」の意味では、be動詞の過去分詞形「been」を使って「**have(has) been to**」にします。

## 8. 現在完了形

タイムワード	意味	使われる文	文中での位置
once	1回、かつて	肯定文	文の最後
twice ~ times	2回、~回	肯定文	文の最後
before	以前	肯定文	文の最後
ever	今までに	疑問文	過去分詞の前
never	一度も~ない	否定文	Haveと過去分詞の間

経験用法のタイムワードは多いので、しっかりと整理しておこう(^o^)/ 「once」は1回、「twice」は2回、3回目以上は「three times」のように「~ times」で表します。

「ever」は、経験用法の疑問文ではよく使われます。経験用法では「not」の代わりに「never」を使うのが、普通です。

# 現在完了形 チェック問題

1. 次の英語の文を日本語に直そう。

① He has never been to Tokyo.



left

; 出発する

② They've already left home.

-left

-left

③ How long have you been in Japan?

try

; ①挑戦する

④ Have you finished your homework yet?

②試す

⑤ Have you ever tried this attraction?

attraction

; (遊園地などの)

アトラクション

2. 日本語の意味に合うように、( )内の動詞を変えて正しい時制に直そう。2語になるときもあります。

① I ( go ) to the U.S. two years ago.

rock music

② My mother ( cook ) at the kitchen now.

; ロック音楽

③ He usually ( listen ) to rock music.

④ They ( visit ) Hiroshima next month.

⑤ Tom ( watch ) TV when I ( come ) home.

⑥ I ( live ) in Nara for three years.

3. 現在完了形を使って、自分の経験を語ってみよう。

例) I have been to Tokyo twice.

foreign country

; 外国

I have never been to foreign countries.

late for ~

I have been late for school twice in this semester.

; ~に遅れる

semester

; 期間、学期

→ 答えはコチラ

# 応用編

応用編の文法は、中学2年生～3年生で習う内容が中心。  
これをしっかり身につけることができれば、会話での文法には困らないはず。  
ムズカシイところもあるけど、動画も見ながら丁寧に理解していこう。



1. 助動詞
2. 受動態



3. 比較
4. 不定詞
5. 動名詞
6. 分詞
7. 関係代名詞



## 1. 名詞と代名詞



いろんな単元を見てく前に、英語の品詞を見ていこう。英語の単語にもいろんな種類があるのよ。ちょっとムズカシイかもしれないけど、ココが少しでも分かっておけば、後がラクチンド。



### 名詞と代名詞

- 1) **John** lives in **Nara**.  
**ジョン**は**奈良**に住んでいます。
- 2) **He** lives in the **town**.  
**彼**はその**町**に住んでいます。

まずは名詞。これは日本語の名詞と同じです。ものや事柄、人物などを表します。上の例文だと、「John(ジョン)」、「Nara(奈良)」、「town(町)」は全部名詞。

名詞には「John」、「Nara」など、人や地名などを表す**固有名詞**、「Japanese(日本語)」や「peace(平和)」のように形がなく、目に見えない**抽象名詞**なんかも含まれます。

**代名詞は、名詞の「代わり」になるもの。**

例文の「He(彼は)」は、名前の「代わり」に「彼」という言葉で言い換えています。このような役割をするのが代名詞。他には物を言いかえて「this(これ)」や「that(あれ)」、人を言いかえて「she(彼女は)」や「we(私達は)」なども代名詞になります。

**名詞や代名詞は、文の中で主語になったり、動作の対象にあたる目的語になったりします。**英語の文をつくる時に、欠かせない要素のひとつです。

知りたい!!

代名詞の代表的なのが、「I」や「his」など**人を表す代名詞**です。

# 品詞

## 2. 動詞

動詞はすでに学習済み。英語のキホンの動詞には、  
be動詞と一般動詞の2種類がありました。  
応用編でも動詞の部分がいろいろ変わったりするけど、  
キホンはこの2つだけです。



### 動詞

1) Sara **runs** in the park every day.

**サ**ラは毎日公園を走ります。

2) She **is** from kyoto.

彼は京都出身**です**。

1) の例文では、動詞「run(走る)」が使われています。  
これは日本語の動詞と同じで、「走る」という動作を表して  
います。これは分かりやすい(^0^)/

1つは1) の走るのような「**一般動詞**」、もうひとつが  
2) の文で使われている「is」のような「**be動詞**」。  
一般動詞は「～は…です。」のように、主語の状態を説明する  
ときに使われます。

英語の文には、必ず「**主語+動詞**」の組み合わせが必要  
だから、動詞は英語の文に必ず必要になります。

戻って復習!!

いろいろ戻って  
復習だ。

⇒ 一般動詞の文  
⇒ be動詞のまとめ



## 3. 形容詞と副詞

さあ続いて、形容詞と副詞のこの2つは文の中で、他の単語を修飾(説明)する役割を持っています。



### 形容詞と副詞

- 1) This question is **easy**.  
この問題は**易しい**です。
- 2) This is **an easy question**.  
これは**易しい**な問題です。
- 3) He answered **two question easily**.  
彼は2つの問題に**簡単に**答えました。
- 4) This question is **very easy**.  
この質問は**とても**易しいです。
- 5) He answered two questions **very easily**.  
彼は2つの問題に、**とても簡単に**答えました。



easily  
; 簡単に  
answer  
; 答える

形容詞は日本語にもあります。かわいい、おもしろい、エロい…「〇〇い」で終わる、様子を表す単語が形容詞です。

形容詞の使い方は、大きく2つ。

- ①動詞の後にきて、**主語の状態を説明する**。
- ②名詞の前にきて、**名詞を修飾する**。

1)の文は①の使い方をしてしています。「easy(易しい、簡単な)」って意味の形容詞は、「is」の後にきて、主語「This question」の状態を説明しています。

2)の文は②の使い方。「easy」は、名詞「question」の前にきて、「簡単な」という説明を付け加えています。

2)の文で使われている「an」のような**冠詞**、3)の文で使われている「two」のような**数詞**も、名詞を修飾してるから形容詞の仲間といえます。

戻って復習!!

a, an, theの違い  
ってなんだった?

# 品詞

副詞の使い方は、ちょっとややこしいです(´\_`)  
副詞は、**動詞、形容詞、副詞の3つを修飾します。**

例文を見ていくと…

3) の「easily(簡単に)」は、「answered(答えた)」という  
「簡単に答えた」ってなるように、**動詞を修飾しています。**

4) は1) の文に、副詞「very(とても)」を入れただけの文。  
「easy」は形容詞なので、「very」は**形容詞を修飾。**

5) も2) の文に「very」を足した文。ここでは**副詞の**  
「easily」**を修飾**しています。

文によって、副詞が修飾するものは変わるんです。

こんなふうに、形容詞と副詞は他の単語を修飾する役割が  
中心。列車で考えると、他の車両にひっついてくるオマケの  
車両のような感じかな？

# 品詞

## 4. 前置詞と接続詞

最後は前置詞と接続詞。接続詞は日本語にもあるけど、前置詞って…？どちらも文の中で、意味のまとまりをつくるはたらきをします。



### 前置詞と接続詞

- 1) Sara runs **in** the park every day.  
サラは毎日公園**で**走ります。
- 2) She is good **at** **playing** the guitar.  
彼女はギターを弾く**のが得意**です。
- 3) **When** I was a child, she was very cute.  
私が子どもの**ころ**、彼女はとてもかわいかった。
- 4) **If** I meet her again, I will tell her the truth.  
**もし**もう一度彼女にあったら、私は彼女に真実を言うつもりだ。



be good at ~  
; ~が得意だ  
again  
; もう一度

まずは、前置詞の1)で使われている「in」や2)の「at」が前置詞。1)は「in(〜で)」と「場所」を表しています。2)は熟語の一部が前置詞になっているもの。  
**前置詞は、その後ろに続く単語とセットで使います。**

- 1)では「in the park」で、  
2)では「at playing the guitar」で、1セット。

前置詞はその名の通り、「前に置く」もの。何の前かという…名詞の前。なので1)の文では(冠詞が間に入ってるけど…)「park(公園)」という名詞が続いています。

でも2)の文で前置詞「at」の後は…「playing」  
動詞じゃん!と思いきや、これは動詞を名詞にした**動名詞**。  
**前置詞の後は、名詞か動名詞!**覚えておこう(^0^)/

知りたい!!!

動詞を名詞に…  
そんなバカな!?  
応用編ででてくる  
単元だけど、  
見てもいいかも  
⇒ **動名詞**

# 品詞

前置詞は小さな意味のまとまりをつくるけど、  
接続詞は「主語+動詞」が入った「節」っていうまとまりを  
つくります。「主語+動詞」でできた節を、組み合わせる  
「連結車両」のようなイメージ。

3) に文の「When」は「～するとき」という意味の接続詞。  
「When I was a child, ...」と主語「I」と動詞「was」が  
入ったまとまりを作ってます。4) の「if(もし～なら)」も  
同じ。「If I meet her again, ...」には主語「I」と  
動詞「meet」が入ってます。

接続詞を使っ節をつくれば、いろんな長い文が作れそう。

英語にはこのほかに、「Oh」や「Yeah」など、返事や  
掛け声で使われる感動詞、間投詞があります。これは見たら  
わかるし、使い方も返事などに使うだけなので省略です(^\_^)

# 1. 助動詞

## 1. 助動詞の文のカタチ



ではでは応用編に突入ー応用編では、これまでの「エンジン」や「車両」に意味を付け加えたり、新しい「車両」を勉強していくぞ。

前に勉強した「will」のこれは、動詞に意味をつけ加える「助動詞」っていうグループの単語でした。字の通り、動詞に意味をたして「動詞(エンジン)」を「助」ける役割をします。

戻って復習!!

ここで一度最初のエンジンと車両の話に戻ってみよう。話がぐっと分かりやすくなるはず!  
⇒ [英文のカタチ](#)



## 英語のカタチ



【肯定文】 ⇒ 助動詞 + 動詞の原形

He **will call** you tomorrow.

(彼は明日あなたに電話するでしょう。)

【疑問文】 ⇒ 助動詞を文の最初に。

**Will** he call you tomorrow?

- Yes, he **will**. / No, he **will not** [won't].

(彼は明日あなたに電話するでしょうか。)

【否定文】 ⇒ 助動詞の後ろに「not」を。

He **will not** [won't] call you tomorrow.

(彼は明日あなたに電話しないでしょう。)

この疑問文と否定文のつくり方、どこかで見たことが…そう! 助動詞の文のカタチは、be動詞の文のカタチと同じ、be動詞タイプ。しかも、助動詞の文のカタチは全て同じ。違うのはそれぞれの意味だけなので、カタチをまずはここでおさえてしまおう。

つづいて、助動詞ごとにその意味を見ていきます。

# 助動詞

## 2. 助動詞「will」

### 「will」を使った文



- 1) He **will** call you tomorrow.  
= He **is going to** call you tomorrow.  
彼は明日あなたに電話します。
- 2) **Will (Would)** you lend me your car?  
あなたの車を私に貸してくれませんか。  
- All right. / Ok. / Sure. / Yes, I will.  
- I'm sorry I can't.
- 3) **Would** you like some coffee?  
コーヒーはいかがですか。
- 4) I **would [I'd]** like to go to the moon.  
私は月にいきたいです。



call

- : ①電話する
- ②～と呼ぶ

lend

- : (お金を取らず) 貸す

sure

- : ①確信している
- ②確かに
- ③もちろん、いいですよ

'd

- : ~wouldの短縮形

助動詞をマスターするときのポイントは3つ!

- ◎...それぞれの**助動詞の基本の意味**を理解して、覚える。
  - ☆...**助動詞を使った表現**を覚える。
  - ⇨...同じ意味になるように、**言いかえができる**ようになる。
- この3つの記号を使っていくので、整理しながら進もう。

戻って復習!!

「be going to」のカタチは大丈夫?

◎「will」の基本の意味は、前にもでてきた**未来を表す**用法。

- ⇨これは「**be going to**」で言いかえができます。
- ☆willや**willの過去形「would」**を使った表現は、3つ。

例文2) **Will (Would)** you ~? 「～してくれませんか」  
「would」を使うと「～していただけませんか」と丁寧な意味に。⇨これは後でてくる「(Can (Could) you ~?)」で言いかえられます。

例文3) **Would** you like ~? 「～はいかがですか」

例文4) **would like to** ~ 「～したい(のですが)」

これは「want to ~」より丁寧な表現。

知りたい!!

「want to ~」は「～したい」という意味。不定詞という単元でやる表現だ。

# 1. 助動詞

## 3. 助動詞「can」

### 「can / could」を使った文

- 1) Mr. Kitajima **can** swim very fast.  
北島さんはとても速く**泳げます**。
- 2) Eiji **could** throw a fast ball.  
= Eiji **was able to** throw a fast ball.  
エイジは速い球を**投げることができました**。
- 3) **Can** I open the box?  
箱を開けても**いいですか**？
- 4) **Can(Could)** you tell me the way to the museum?  
博物館への道を**教えてくださいませんか**？



throw  
: 投げる

way  
: ①道  
②方法

the way to ~  
: ~への道

museum  
: 博物館

◎ 「can」の基本の意味は、2つのひとつは「**~できる**」と「**可能**」を表す使い方。「can」の過去形は「**could(~できた)**」です。

⇨ 「可能」の意味の「can(could)」は、be動詞を使って「**be able to**」で言い換えることができます。(例文2)

◎ もうひとつは例文3)のように、「**~してもいい**」と「**許可**」を表す使い方。(例文3)

⇨ これは「may」と同じ意味。

☆例文4)の「**Can(Could) you ~?(~していませんか)**」は

⇨ さっき出てきた「Will(Would) you ~?」と**言い換え**ができます。ちなみに「Could you ~?」、「Would you ~?」は

⇨ どちらも「**Please + 命令文**」のカタチで**言い換え**ができます。

# 助動詞

## 4. 助動詞「must」



### 「must」を使った文



- 1) I **must** stay here.  
= I **have to** stay here.  
私はここに**いなければならない**。
- 2) You **must not** stay here.  
= **Don't** stay here.  
あなたはここに**いてはいけません**。
- 3) You **don't have to** stay here.  
あなたはここに**いなくてもいい**です。
- 4) Must I stay here?  
- Yes, **you must**. / No, you **don't have to**.  
私はここにいないといけませんか？
- 5) Mr. Takeyama **must** be angry.  
竹山さんは怒っている**に違いない**。



stay

; 滞在する、  
とどまる、いる

angry

; 怒っている

- ◎ 「must」の基本の意味は2つ。「**～しなければならない**」と「**義務**」を表す使い方。「must」に過去形はありません。
- ⇨ 「義務」の意味の「must」は、「**have (has) to**」で言い換えることができます。
- ◎ もうひとつは例文5)のように、「**～にちがいない**」と「**断定**」を表す使い方。

⇒ 「have to」は「ハフトゥー」と、「has to」は「ハストゥー」と、にがらずに読むので注意。

ただし！注意しないとイケないのが、「must」と「have (has to)」の違い。否定文のとき「**must not**」は「**～してはいけない**」と「**禁止**」の意味になって(例文2) (⇨これは命令文の否定「**Don't + ~.**」で言い換えができる)。「**don't have to**」は「**～しなくていい**」という「**不必要**」の意味になります(例文3)。それに合わせて疑問文の答え方も、「yes」と「no」で変わるので要注意です(例文4)。



**戻って復習！！**

**命令文**ってどんな  
だけ？という人は  
戻って復習！



# 1. 助動詞

## 5. その他の助動詞

### その他の助動詞を使った文

- 1) You **may** (might) go home now.  
あなたは今帰ってもいいですよ
- 2) It **may** (might) be true.  
それは本当かもしれません。
- 3) **Shall I** carry your bag?  
- Yes, please. / No, thank you (thanks).  
カバンを運びましょうか?
- 4) **Shall we** dance? = **Let's** dance.  
- Yes, **let's**. / No, **let's not**.  
(一緒に)踊りましょう。
- 5) You **should** go to the hospital.  
あなたは病院に行くべきだ。
- 6) He **should** know her name.  
彼は彼女の名前を知っているはずだ。



go home  
; 帰宅する  
true  
; 本当の  
carry  
; 運ぶ  
hospital  
; 病院

「may」の意味は2つ。過去形の「might」もほぼ同じ意味。

◎ひとつは例文1)のように「**～してもいい**」と「許可」を表す使い方。

⇨これは「can」と同じ意味。

◎もうひとつは、例文2)のように「**～かもしれない**」と

「推量」を表す使い方。「might」だと「(ひょっとすると)～かもしれない」と可能性が低くなります。

# 助動詞

次の「shall」は「will」と同じように「未来」を表すことができるけど、今はあまり使われていません。

「shall」で覚えておきたいのは、次の2つ。

☆例文1) Shall I ~? 「~しましょうか。」

「I(私は)」を使って一人ですることになるので、

「~しましょうか。」という意味になります。

☆例文2) Shall we ~? 「~しましょう。」

今度は「we(私たちは)」を使うので、一緒にすることになります。

これは命令文で学習した⇨「Let's ~。」で

言いかえ可能。なので答える時には「let's」を使います。

「should」は「shall」の過去形だけど、今では全然別の意味に使われています。

◎まずは「~するべきだ」と「義務」を表す使い方。

でも「must(~しなければならない)」よりは弱い意味。

◎もうひとつは「~はずだ」という「may」より少し強い推量の

あまり出てこない意味だけど、覚えておこう(^0^)/

戻って復習!!

またもや命令文の

お願い・禁止・お誘

いの文でまとめて、

復習はいかが?

# 助動詞 チェック問題

1. 日本語の意味になるように、下の( )をうめよう。

①今夜は早く寝るつもりです。

I ( ) go to bed early tonight.

②彼女のメールアドレスを教えてくださいませんか。

( ) ( ) tell me her e-mail address?

③イチローは英語を上手に話せる。

Ichiro ( ) speak English well.

④このチョコレート食べていいですか。

( ) I eat this chocolate?

⑤遅れてはいけません。

You ( ) ( ) be late.

= ( ) be late.

⑥あなたはもうここには来なくていいです!

You ( ) ( ) ( ) come here.

⑦彼は私のことが好きにちがいない。

He ( ) ( ) me.

⑧明日雨が降るかもしれない。

It ( ) rain tomorrow.

⑨一休みしませんか。

( ) we take a rest? = ( ) take a rest.

⑩その映画見るべきだよ。

You ( ) see the movie.

2. 助動詞「will」、「can」、「must」を使って、自分の明日の予定(will)、特技(can)、今日やること(must)を英語で言ってみよう。

例) I will go to school tomorrow.

I can run fast.

I must do my homework today.



go to bed

; 寝る

e-mail address

; メールアドレス

chocolate

; チョコレート

rain

; 雨が降る

take a rest

; 一休みする

→ 答えはコチラ

## 2. 受動態

### 1. 「受動態」ってなに？

彼は私が嫌いだ。 私は彼に嫌われている。

この文、言ってることは同じです。けど、嫌いだからなんて( )\_( )

英語では「～される」という文を**受動態**というカタチで表します。ちなみに、今までのカタチは**能動態**って名前。



### 受動態の文

1) He likes me.

彼は私が好きです。

2) I am liked by him.

私は彼に好かれています。



by～

①～で

②～によって

③～のそばに

それじゃあ早速、受動態のつくり方。

- ①「～される」って意味だから主語は「される人(もの)」、つまり、もともと動詞の後ろにあった**目的語を主語に持ってきます**。「目的語」は、「～を、～に」の部分で動作の対象(目的)になる部分。2)の文では、1)の目的語だった「me」が主語になっています。

↓

- ②動詞の部分は、「**be動詞+過去分詞形**」のカタチにします。

↓

- ③元の主語は、「**by(～によって)**」と一緒に後ろにおきます。

1)の主語の「he」は「by」の後に。 「by」の後は、「～を、～に」の形(目的格)にします。

ここでは「彼を、彼に」の「him」。

**戻って復習!!**

I, my, me, mine

とか、いまだに

謎な人は、

人を表す代名詞へ。

# 受動態



## 英語のカタチ



He likes me.

↓ 目的語を主語に ↓

I am liked by him.

be動詞 過去分詞

受動態「～される」

- ① 目的語を主語に
- ② 動詞は「be動詞 + 過去分詞」
- ③ もとの主語をbyと一緒に後ろへ



## 目的語が2つの文の受動態

3) I gave him a birthday present.

私は彼に誕生日プレゼントをあげました。

4) He was given a birthday present by me.

彼は私に誕生日プレゼントをもらいました。

5) A birthday present was given him by me.

誕生日プレゼントは私によって彼に与えられました。



give

- gave

- given

birthday

; 誕生日

present

; プレゼント

英語には目的語が2つあるときがあります。この場合は、主語にできる目的語が2つあるので、2つの受動態の文ができるはず(-.-)

この例文では、「him(=彼に)」と「a birthday present(=誕生日プレゼントを)」が目的語なので、それぞれが主語になるというわけ。

## 2. 受動態

### 2. 疑問文と否定文



#### 疑問文と否定文

1) Was I forgotten?

-Yes, you were. / No, you were not [weren' +].

僕、忘れられていたのかい？

2) She is not [isn' +] understood by anybody.

彼女は誰にも理解されていない。

受動態はbe動詞を使っている文。ってことは…今までのbe動詞文と同じで、**疑問文ではbe動詞を文の最初に、否定文ではbe動詞の後に、「not」を入れれば完成**です。



forget

: 忘れる

- forgot

- forgotten

understand

: 理解する

- understood

- understood

anybody

: 誰か



#### 英語のカタチ

【疑問文】

Was I forgotten?

【否定文】

She is not [isn' +] understood by anybody.

受動態は、be動詞型。

be動詞型のカタチは同じ。

疑問文 → be動詞を文の最初に出す。

否定文 → be動詞の後ろにnotを入れる。

# 受動態 チェック問題

1. 次の文を受動態にして、下の ( ) をうめよう。	
① I saw him yesterday. ( ) ( ) ( ) by me yesterday.	 see
② Bob will laugh at me. I will ( ) ( ) ( ) by Bob.	- saw - seen
③ You gave me this present. ⇒ I was ( ) ( ) ( ) by you. ⇒ This present was ( ) ( ) ( ) by you.	laugh at ~ ; ~を笑う
2. 日本語の意味に合うように、下の ( ) を並び替えよう。	steal
① 母の財布が知らない人に盗まれました。 (was, by, my mother's wallet, stolen, a stranger).	; 盗む - stole
② 英語は世界中で話されています。 (spoken, English, all, over the world, is).	- stolen wallet
③ その本はしばらく誰かに借りられているに違いない。 (must, for some time, lent, the book, be).	; 財布 stranger ; 知らない人
3. 自分の周りのものを見て、受動態で表現してみよう。	speak
be made in ~ (〜で作られている)	- spoke
be given (bought) by (〜に(買って)もらった)	- spoken
be made of ~ (〜(材料)でできている)	lend
be made from ~ (〜で(原料)できている)	; 貸す
例) This T-shirt was made in China.	- lent
This watch was bought for me by my grandfather.	- lent
This desk is made of wood.	must
Cheese is made from milk.	; ① ~しなければ ならない ② ~に違いない ⇒ 助動詞「must」
	→ 答えはコチラ

# 3. 比較

## 1. 英語で「比較」はどう表す？



ここからは再び「車両」になる部分を見ていくけれど、ちょっと難しそうな単元が続くけど、それぞれの文の中での役割を理解していくことがポイント。

「お兄ちゃんは、もっと勉強してたわ！」  
ああ…なぜこうもくだらない比較をしたがるのでしょうか(-.-)  
それでも、何かを比べてしまうのが、人間です。  
ここでは、英語の比較表現を勉強していきます。



### 比較

- 1) Musashi is strong.  
ムサシは強い。
- 2) Musashi is stronger than he(him).  
ムサシは彼より強い。
- 3) Ichiro runs faster than I(me).  
イチローは私より速く走る。



strong  
; 強い  
than~  
; ~より



戻って復習!!

形容詞と副詞…?  
って人は、  
品詞にお戻り!

まずは、一番よく使う「**比較級**」ってカタチの比較級は、「(主語)の方が~より、…だ」って言うふうに、2つのものを比べるときに使います。他の車両を修飾する役割の**形容詞や副詞の後ろに「er」をつけて、比べるものの前に「than(~より)」**をおけば、完成です。

thanはもともと接続詞なので、その後には比べるものを主格、つまり「~は、~が」の形で持ってきます。(he, I)でも今は前置詞のように使ってるので、目的格「~を、~に」(him, me)の形でもOKです。

比較の文は、車両をちょっと変えて、比べられる形にするイメージだね。



# 比較



## 英語のカタチ



Musashi is strong.

↓ 比較級にすると…

Musashi is stronger than him.

比較級は、形容詞/副詞 + 「er」と  
「than + 比べるもの」でつくる。

「er」をつける…この単語に何かをつけるときって、  
いつもいろんなパターンがあるよね…その通りです。



## 英語のカタチ

### 【比較級の“er”のつけ方】

①ふつうは、「er」だけ。

例: strong → stronger, fast → faster

②最後が「e」の動詞は、「r」をつける。

例: large → larger, nice → nicer

③最後が「子音字 + y」の動詞は、

「y」を「i」に変えて「er」をつける。

例: happy → happier, easy → easier

④最後が「短母音 + 子音字」は、1字重ねて「er」。

分かりにくいので、重ねるものは覚えてしまおう！

例: big → bigger

# 3. 比較

## 2. 最上級「最も〜だ」



### 最上級

- 1) Musashi is **the strongest in** the world.  
ムサシは世界中で**最も強い**。
- 2) Ichiro runs (**the**) **fastest of** the three.  
イチローは3人の中で**最も速く**走る。



in ~  
; ~の中で  
world  
; 世界

「最も〜」を表す最上級は、形容詞/副詞に「est」をつけたカタチでつくりまます。「最も〜」だと、名詞が限定されることになるので、「the」を一緒に使うのが普通。でも2) みたいに、副詞の最上級のときは、「the」を省略してもOK。最上級の後に続く「…の中で」には2つの単語が使われます。1) の文のように後ろに国とかクラスのように、「ひとつのまとまりで考えられるもの」が続く時は「in」を、2) の3人とか我々宇宙人全員のように、「ひとつのものではなく、個別の集まりのもの」が続く時には「of」を使います。

なので「in」の後は単数の名詞、「of」の後は複数の名詞が続くことになります。これが見分け方のポイント。

戻って復習!!

「限定されるから「the」を使う」ってのは、どういうわけですか、コレ?  
⇒ a, an, theの違い



### 英語のカタチ



Musashi is strong.  
↓ 最上級にすると…  
Musashi is **the strongest in** the world.

最上級は、形容詞/副詞 + 「est」と  
「in + 単数の名詞」、「of + 複数の名詞」

# 比較

## 3. moreとmost、不規則な変化



### moreとmost、不規則な変化

- 1) Yuko is **more** beautiful than Haruka.  
ユウコはハルカより**美しい**。
- 2) Yuko is **the most** beautiful in the world.  
ユウコは世界で**最も美しい**。
- 3) Keisuke is a **better** soccer player than them.  
ケイスケは、彼らより**いい**サッカー選手です。
- 4) Keisuke is **the best** soccer player in Japan.  
ケイスケは、日本で**一番いい**サッカー選手です。

長い単語の後ろに「er / est」とかつけたら、ちょっと長すぎ…だから、3音節以上の長い単語では、少しカタチが変わります。

比較級的时候は「more」、最上級のときは前に「the most」をつければOK。



## 英語のカタチ



【比較級】 **more** beautiful

【最上級】 **the most** beautiful


長い単語では、比較級は、「**more**」

最上級は、「**the most**」をつける。

### 3. 比較

例文3)と4)が不規則な変化をする形容詞の動詞の変化と同じように、形容詞や副詞の比較級/最上級の変化にも不規則なものがあります( )\_( )例文の3)の比較級「better」、4)最上級「best」は、形容詞「good」が変化したものだ。これ以外にも、不規則なものがいくつかあるので、覚えておこう。

原級	比較級	最上級
good, well	better	best
bad, ill	worse	worst
many, much	more	most

戻って復習!!  
「many」と「much」の違い、覚えてる？  
⇒ 「How + ~」の組み合わせ

## 4. 原級「～と同じくらい…だ」

最後に比較の3つめのカタチ。「～と同じくらい…だ」って意味の原級(元の形)を使った比較です。



### as ~ asの文

- 1) I am rich.  
私は金持ちだ。
- 2) I am **as** rich **as** Mr. Son.  
私は孫さんと同じくらい金持ちだ。
- 3) I am not **as** rich **as** Mr. Jobs.  
私はジョブズさんほど金持ちじゃない。

カタチはカンタン。形容詞や副詞には何もつけないで、「as」でその前後をはさむだけ。後ろの方の「as」の後に比べるものを続けます。

ただし注意が必要なのが、否定文の訳。「～と同じくらい…ではない」だとかしいので、「○○ほど～じゃない」って訳します。



### 英語のカタチ



I am **as** rich **as** Mr. Son.  
はさむ

asではさんで「as ~ as + 比べるもの」  
否定文の訳は「○○ほど～でない」

# 比較 チェック問題

1. 日本語の意味に合うように、下の ( ) をうめよう。

① ボブはマイクより背が高い。

Bob is ( ) ( ) Mike.

② サチコは私たちのクラスメートの中で一番かわいい。

Sachiko is ( ) ( )  
( ) our classmates.

③ タロウはバスケットボール部の中で一番熱心に練習した。

Taro practiced ( ) ( ) ( )  
the basketball club.

④ これは一番重要なことです。

This is ( ) ( ) ( ) thing.

⑤ 彼女は昨日体調が悪かったが、今日はより悪い。

She was ill yesterday, but she is ( ) today.

⑥ この新しいドラマは、前のよりおもしろい。

This new TV drama is ( ) ( )  
than the last one.

⑦ このチョコレートはそのアメと同じくらいあまい。

This chocolate is ( ) ( )  
( ) that candy.

⑧ マサシはジョーダンさんほど上手にバスケットボールが  
プレイできない。

Masashi can't play basketball  
( ) ( ) ( ) Mr. Jordan.

2. 次の単語を使って、自分の身の周りのことを  
比較の文で表現してみよう。

tall, small, young, old, well, fast,  
important, interesting

例) I am taller than my friend, Satoshi.

English is more interesting than math.



classmate

; クラスメイト、  
同級生

important

; 重要な、大切な

lesson

; 授業、レッスン

ill

; 病気の  
体調が悪い

TV drama

; (テレビの)  
ドラマ

interesting

; おもしろい  
興味深い

chocolate

; チョコレート

candy

; キャンディ

→ 答えはコチラ

## 4. 不定詞

### 1. 「不定詞」って何？

「野球するの、おもしろいねん。」

「早起きするために、目覚ましセットしました。」

「何かやるべきことない？」

日本語でも上の文のように「～すること」や

「～するために」、「～するべき」みたいに動詞に意味を付け加えて使うことがよくあります。

そんな意味を英語で表すには、「**不定詞**」という表現を使います。日本語とは違うので、ちょっと難しいけどひとつずつ丁寧に理解していこう。まずはカタチから。



### 英語のカタチ

play ⇒ to play

不定詞 「to」 + 動詞の原形

カタチはこんなふうに動詞の原形の前に「to」をつけるだけ(^o^)/

「不定詞」は、文の中で名詞や形容詞、副詞などいろんな役割をします。品詞が「定まってない」ので「不定詞」というわけですよ。いろんな「車両」にタイヤを替えれるってこと。次のページからは、順に不定詞の3つの役割を勉強していきましょう。

# 不定詞

## 2. 名詞的用法

### 名詞的用法

- 1) **To play** baseball is fun.  
野球を**すること**は楽しい。
- 2) My hobby is **to sing**.  
私の趣味は**歌うこと**です。
- 3) I want **to play** basketball.  
私は**バスケットボール**をしたいです。  
(←私はバスケットボールを**すること**を望んでいます。)



fun  
: 楽しい  
hobby  
: 趣味

不定詞の一つ目の役割は、「**～すること**」と訳す**名詞**の役割。「**名詞的用法**」って呼ばれます。

名詞的用法の不定詞は、名詞と同じで**文の主語や目的語などの大切な部分になれます**。なので、名詞的用法の不定詞の部分を隠すと文の意味が成り立たなくなります。  
たとえば、1) ~~だ~~と (To play baseball) is fun.

↑これじゃあ意味不明です(-.-)

3) の「**want to ~**」は、「**～することを望む**」っていう意味なので、「**～したい**」と訳すのがぶつう。名詞的用法でよく出てくる表現なので、覚えておこう。

知りたい!!!

この不定詞の名詞的用法は、**動名詞**で言い換えることができる。続けて学習してみよう。



## 英語のカタチ



### 【名詞的用法】

**To play** baseball is fun. (野球を**すること**)

「**～すること**」という意味で、  
文の主語や目的語、補語になる。



# 4. 不定詞

## 3. 形容詞的用法



### 形容詞的用法

- 1) Takeshi has a lot of homework **to do**.  
タケシにはたくさんの**すべき**宿題があります。
- 2) I had no time **to study** yesterday.  
昨日は**勉強する**(ための)時間がなかったんだ。
- 3) She wants **something hot to drink**.  
彼女は**何か温かい飲み物**(飲むための物)がほしい。



a lot of ~  
: たくさんの ~  
something  
: 何か  
drink  
: 飲む

次は「形容詞的用法」。「形容詞」とは名詞を修飾(説明)する単語なので、この形容詞的用法のときは、

**不定詞は名詞の後に続いて、後ろから名詞を修飾します。**

形容詞的用法の訳は、「~するための」や「~すべき」。  
ただし、2)のように意味が自然にわかるような訳に、  
少し変えて訳してもOKです。



戻って復習!!

形容詞...うう...  
思い出せない。  
という人は、  
⇒ **形容詞と副詞**

3)のように不定詞と「something/anything」をいっしょに使った表現も覚えておこう。形容詞はいつも「hot drink」というように、「形容詞+名詞」の順番で使うけど、「something/anything」を修飾するときは、「**some(any)thing + 形容詞 + 不定詞**」になります。



## 英語のカタチ

### 【形容詞的用法】

I have no time to study yesterday. (勉強する時間)

名詞「time」を修飾

「~するための」「~すべき」という意味で、  
前の名詞を修飾する。

# 不定詞

## 4. 副詞的用法



### 副詞的用法

- 1) Suneta uses taxi **to go** to school.  
スネタは学校に**行くために**タクシーを使います。
- 2) I am glad **to meet** you.  
あなたに**会えて**うれしい。



taxi  
: タクシー  
glad  
: うれしい

最後は「副詞的用法」。「副詞」は、動詞・形容詞・副詞を修飾するはたらきを持つ品詞です。

副詞的用法には、2つの意味があって、

一つ目は、「**～するために**」(例文1)

1) の文では「to go(行くために)」が、「use(使う)」という動詞を修飾しています。

もうひとつが、「**～して**」(例文2)

2) では「to meet(会えて)」が「glad(うれしい)」という形容詞を修飾しています。この意味になるときは、不定詞の前に「glad(うれしい)」や「sad(悲しい)」とかの感情を表す言葉が来ることが多いです。



## 英語のカタチ



### 【副詞的用法】

I **use** my bike **to go** to school. (学校に**行くために**)


← 動詞「use」を修飾

I am **glad** **to meet** you. (あなたに**会えて**)

← 形容詞「glad」を修飾

- ①「**～するために**」②「**～して**」という意味で、  
動詞、形容詞、副詞(のどれか)を修飾する。

# 不定詞 チェック問題

<p>1. 日本語の意味に合うように、下の ( ) をうめよう。</p> <p>① インターネットを使うことはおもしろい。 ( ) ( ) the Internet is interesting.</p> <p>② のびおの趣味は寝ることです。 Nobio's hobby is ( ) ( ) .</p> <p>③ シズコはお風呂に入りたい。 Shizuko ( ) ( ) take a bath.</p>	 <p>the Internet ; インターネット (冠詞はthe)</p> <p>take a bath ; お風呂に入る</p>
<p>2. 日本語の意味に合うように、下の ( ) の中の言葉を 並べ替えよう。</p> <p>① 何か言うべきことがありますか。 Do you have (to, anything, say)?</p> <p>② 何か冷たい飲み物をちょうだい。 Please give me (cold, drink, to, something).</p> <p>③ 彼はオーストラリアに行くために英語を勉強した。 He (go, to, English, to, studied) Australia.</p> <p>④ そんな言葉を聞いてとても悲しかった。 I (hear, was, very sad, to) such a word.</p>	<p>anything ; (疑問/否定文) 何でも</p> <p>cold ; 冷たい</p> <p>such ; そのような</p> <p>hear ; 聞こえる</p> <p>word ; 言葉</p>
<p>3. I want to~ のカタチを使って、自分がしたいこと、 なりたいたいものを言ってみよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>speak English, take days off, read mangas travel abroad, go shopping</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>genius, athlete, musician school teacher, CEO</p> </div> <p>例) I want to speak English. I want to be an athlete.</p>	<p>take days off ; 休みをとる</p> <p>travel ; 旅行する</p> <p>abroad ; 海外に</p> <p>genius ; 天才</p> <p>athlete ; 運動選手</p> <p>CEO ; 社長、取締役</p>
	<p>→ 答えはコチラ</p>

# 5. 動名詞

## 1. 動名詞って？



### 動名詞

- 1) My work is **teaching** Japanese.  
= My work is **to teach** Japanese.  
私の仕事は、日本語を**教えること**です。
- 2) **Exercising** is important for you.  
= **To exercise** is important for you.  
**運動すること**は、あなたにとって大切です。



work

；①はたらく

②仕事

exercise

；運動する

important

；重要だ、大切だ

**動名詞はその名の通り、「動詞を名詞にしたもの」。**

動詞に名詞の役割をさせたいときに、使います。

カンのいい人は気づいたかな？「動詞を名詞として使う」、これは不定詞の名詞的用法と同じ考え方。つまり、**動名詞も「～すること」**って意味になるんです。

カタチは**動詞に「ing」をつける**だけ。「ing」のつけ方は、前に勉強した進行形の「ing」と同じ。ただし、文法的にはまったく別物なので、要注意！

不定詞の名詞的用法と、動名詞は同じ意味なので、例文のように書きかえることができます。



**戻って復習！！**

「ing」のつけ方、大丈夫？不安な人は戻って復習！！

⇒ 「ing」のつけ方



### 英語のカタチ



Your work is **teaching**. (**教えること**)

「**～すること**」という意味で、文の主語や目的語になる。



**知りたい！！**

じゃあ進行形の「ing」は何？  
進行形の「ing」の正体を知りたい人は 分詞へGO！

# 動名詞

## 2. 動名詞と不定詞の使い分け



### 動名詞と不定詞の使い分け

- 1) He **enjoyed talking** [X to talk] with her.  
彼は彼女と**話すことを楽しんだ**。
- 2) Shiro **wants to play** [X playing]  
in the Major Leagues.  
四郎はメジャーリーグで**プレイしたい**。
- 3) I **remember meeting** you last month.  
先月に君と**会ったことを覚えている**。
- 4) I **remember to meet** you next week.  
来週、君と**会うことを覚えている**。



- the Major Leagues  
; メジャーリーグ
- remember  
; 覚えている
- next  
; 次の
- decide  
; 決める
- plan  
; 計画する
- forget  
; 忘れる

じゃあ、不定詞の名詞的用法と動名詞の違いは何？

実は、不定詞と動名詞で言いかえられなかったり、意味が違ったりすることがあるんです。めんどくさ…(+、+)

1) で使われている動詞「enjoy」は、その後の目的語で、不定詞を続けることができません。2) の「want」は逆に、後に動名詞が来ちゃダメ。

他にも3)、4) のように不定詞と動名詞で意味が異なる動詞もあります。うう…覚えるしかないんだけど、次のページで覚える工夫を紹介します。



### 英語のカタチ



- 動名詞しかダメな動詞 **enjoy, stop, finish, …**
- 不定詞しかダメな動詞 **want, decide, plan, …**
- 意味が変わる動詞 **remember, forget, try, …**

## 5. 動名詞

不定詞と動名詞の使い分けや、意味が変わる動詞を覚えるのは、けっこう大変。だけど、実はコツがあるんです。

実は「不定詞」の「to」、昔は前置詞の「to」と同じだったんです。つまり「go to ~」の「to」みたいに方向を表してました。それが不定詞のもとになっているので、不定詞が来ると未来の内容を表す意味になります。

つまり、こういこうこと。

不定詞 → **未来のイメージ**

動名詞 → **現在・過去のイメージ**

不定詞と動名詞で意味が違う動詞を見てみると納得のはず！

・ remember

I **remember to meet** you next week.

来週、君と会うことを覚えている。

I **remember meeting** you last month.

先月に君と会ったことを覚えている。

・ forget

Don't **forget to close** the door when you go out.

家を出る時に、窓を閉めるのを忘れないで。

I **forgot closing** the window when I went out.

家を出た時に、窓を閉めたのを忘れていた。

・ try

I **tried to open** the door.

私はドアを開けようとした。

I **tried opening** the door.

私はドアを試しに開けてみた。



# 動名詞 チェック問題

1. 動名詞と不定詞を使って ( ) をうめよう。

① ドアを開くのは簡単だよ。

( ) the door is easy.

= ( ) ( ) the door is easy.

② ヒカルはチェスをするのが好きです。

Hikaru likes ( ) chess.

= Hikaru likes ( ) ( ) chess.

③ 見ることは信じることだ (= 百聞は一見に如かず)。

( ) is believing.

= ( ) ( ) is to believe.

④ 彼は柔道の練習を始めた。

He began ( ) judo.

= He began ( ) ( ) judo.

2. 下の2つのグループ単語を使って、文をつくってみよう。

Aのグループを動名詞にして「～すること」をつくって

Bのグループの表現と組み合わせればOk。

A. 動名詞をつくる

study English, go shopping, travel

go to bed, eat breakfasts, play sports

B. 組み合わせで文をつくる

I like ~.

~ is easy / fun / important など

My hobby is ~.

例: study English + I like

⇒ I like **studying** English.

私は**英語を勉強すること**が好きです。



break

; 壊す

play chess

; チェスをする

→ 答えはコチラ

# 6. 分詞

## 1. 「分詞」って何？



応用編もとうとう大詰め！文の中でちょっと変わった役割をする分詞と関係代名詞を残すのみ。英語を話すには、これくらいの文法で十分さ。

まずは分詞。分詞ってのは、現在完了や受動態に出てきた、「過去分詞」のこと。実は現在進行形ででてきた「～ing」も、「現在分詞」という分詞のひとつ(-.-)

実はこの分詞、エンジンの部分にも使ったけど、分詞だけでも車両として使うことができます。



## これまでの分詞を使った文法

- 1) My sister **is eating** my cake.  
姉が私のケーキを食べています。
- 2) My sister **has eaten** my cake.  
姉が私のケーキを食べてしまった。
- 3) My cake **was eaten** by my sister.  
私のケーキは姉に食べられました。

1) は、**現在進行形**の文。「**be動詞 + 現在分詞(～ing)**」のカタチで表されます。訳は「～しているところです。」今ちょうどしている動作を表すときに、使うんです。過去の時点で動作を表す、**過去進行形**もあります。

2) は、「**have(has) + 過去分詞**」で、**現在完了**の文。完了、経験、継続の3つの用法があって、過去から今まで影響していることを表します。

3) は、**受動態**の文。カタチは「**be動詞 + 過去分詞**」。「～される」ってやつ。

ここまでは、復習！ここからは、分詞を車両、つまり動詞以外の部分で使って、**名詞を修飾する**方法をみていきます。

**戻って復習！！**

もう忘れちゃった

…って人は、

⇒ **現在進行形**

⇒ **過去進行形**

⇒ **現在完了形**

⇒ **受動態**



# 分詞

## 2. 分詞の使い分け



### 分詞の使い分け

1) He knows the **sleeping baby**.

彼はその**眠っている赤ちゃん**を知っています。

2) Don't touch the **broken window**.

その**割れた窓**を触ってはいけません。



Don't touch ~

⇒ **命令文**

broken

- broke

- broken

分詞は名詞と一緒に使うと、名詞に状態を付け加えます。

**現在分詞**は「**～している**」、**過去分詞**は「**～された**」って意味をつくって、**名詞を修飾するはたらき**をするんです。

この用法をマスターするポイントは、2つだけ(^0^)/

①分詞の使い分けができる。

②名詞と分詞の順番がわかる。

まず①の分詞の使い分け。キホンは意味で考えてみれば、OK。1)の文だと、「眠ら**された**(催眠?)」じゃなくて、「**眠っている**」の意味をつくらないといけません。なので、「～している」って意味の**現在分詞**を使います。

しかし!単純に意味だけで考えると、分かりづらいときも。例えば、2)の文。「**壊れている窓**」?「**壊された窓**」? そんな時には、**修飾されてる名詞との関係を英文で考えます**。修飾されてる名詞を主語に、それぞれの分詞の文をつくると...

× The window is **breaking**. 【**現在分詞**】

窓は**壊れている**ところです。

○ The window is **broken**. 【**過去分詞**】

窓は**壊されて**います。

現在分詞の文だと、窓が自分から壊れてしまうことに...  
自爆?(^-^;) )

## 6. 分詞

つまり、現在分詞では、修飾されている名詞自身が分詞の動作をしている関係(能動っていう)で、過去分詞では、

受け身の関係(受動っていう)になってることがわかります。

単純な意味だけじゃなく、名詞との関係を見ていくのが、ポイントです(^^)



### 英語のカタチ



【現在分詞】 → 名詞自身が動作をしている(能動)

He knows the **sleeping** baby.

the baby is **sleeping** (× slept)

【過去分詞】 → 受け身の関係(受動)

Don't touch the **broken** window.

the window is **broken** (× breaking).

分詞の使い分けは、意味で判断。

修飾される名詞と分詞との関係を考える。

# 分詞

## 3. 名詞と分詞の順序



### 名詞と分詞の順序

- 1) He knows the **sleeping baby**.  
彼はその**眠っている赤ちゃん**を知っています。
- 2) Don't touch the **broken window**.  
その**割れた窓**を触ってはいけません。
- 3) He knows the **baby sleeping on the chair**.  
彼は**イスの上で寝ている赤ちゃん**を知っています。
- 4) That was the **window broken by Tom**.  
あれが**トムに壊された窓**です。

次はポイントの2つ目。名詞と分詞の順序。分詞は名詞の前に置くこともあれば、後ろに置くこともあります。

- 1) や 2) みたいに、**分詞だけで名詞修飾するとき**は、**形容詞と同じように名詞の前に分詞をもってきます。**
- 3) や 4) みたいに**分詞に語句がくっついて、セットで修飾するとき**は**名詞の後ろに分詞をもってきます。**このときにセットで名詞の前に持ってくると、分詞と名詞が離れて、修飾の関係が分かりづらくなっちゃうんで。



### 英語のカタチ



He knows the **sleeping baby**.


He knows the **baby sleeping on the chair**.

セットで修飾

分詞だけで修飾 ⇒ **名詞の前に**

分詞と語句のセットで修飾 ⇒ **名詞の後ろに**

# 分詞 チェック問題

1. 次の( )にあてはまる分詞を選ぼう。	
① We know that ( dancing / danced ) girl.	dance
② I am looking for the ( stealing / stolen ) money.	; 踊る、 ダンスする
③ Do you know that ( walking / walked ) woman?	am looking
④ Mr. Bando likes ( boiling / boiled ) eggs.	⇒ <u>現在進行形</u>
⑤ Look at the girl ( sitting / sat ) on the bench.	look for ~
⑥ I have a camera ( making / made ) in Japan.	; ~をさがす
2. 次の( )内の英文を正しい順番にして、日本語に訳そう。	boil
① This is ( by , the picture , Hiroshige , painted ).	; ①ゆでる
訳( )	②(水などを)
② Can you see ( crying , little , girl , a )?	わかす
訳( )	bench
③ I have seen ( standing , cute , over there , the , girl ).	; ベンチ
訳( )	paint
	; 描く、 (色を)塗る
3. 日本語の意味に合うように、下の( )をうめよう。	cry
① 公園に傷ついた犬がいる。	; 泣く
There is a ( ) ( ) in the park.	over there
② 彼は歌を歌っているあの女の子が好きだ。	; 向こうに
He likes that ( ) ( ) ( )	injure
( ) .	; 傷つける
③ ケンはタカシが選んだプレゼントを受け取った。	select
ken received the ( ) ( ) by Takashi.	; 選ぶ
	→ <u>答えはコチラ</u>

# 7. 関係代名詞

## 1. 関係代名詞って？

「うわ、いつも使ってる赤ペン失くした(+ +)」  
さあ、これを英語にしてみよう。

…これまでに勉強したことだけだと、ちょっと難しい。  
それもそのはず。この文の中には(「うわ」はおいといて…)、  
①赤ペンを失くした。 ②いつもその赤ペンを使っている。  
っていう2つの文が含まれているからです。

ここでは、この文みたいに**2つの文をつなげて、  
1つの文にする関係代名詞**について、勉強していきます。



### 関係代名詞を使った文

- 1) I lost **my red pen**.  
私は**赤いペン**をなくしました。
- 2) I always use **it**.  
私は**それ**をいつも使っています。
- 3) I lost my red pen **which** I always use.  
いつも使っている赤ペンを失くした。



lose

- ; ①なくす
- ②負ける
- lost
- lost

それじゃあ、さっきの赤ペンの例文で**関係代名詞**のしくみを見ていきます。①②の文を英語にしたのが、上の1)と2)。

これを1つの文にしたらいいんだけど、2)の「it」は、1)の「my red pen」と同じもの。だから1つの文にしたら、②の「it」はいらないので、省きます。

あとは、そのまま文と文をつないで、「文をつなぎましたよー」って印として、間に**関係代名詞**の「which」を入れてあげれば、1)の文になります。

I lost my red pen + **which** + I always use **it**.

戻って復習!!

この「which」は、**疑問詞**とは、別のもの。長文で出てきたら、見分けられるように復習だ。

# 関係代名詞

そして、関係代名詞で絶対に守らないといけないのが、  
「先行詞 + 関係代名詞」のセット。  
先行詞っていうのは、1)と2)の部分でかぶってた  
「the red pen」のことに。先行詞と関係代名詞が離れちゃうと、  
元の文の関係がおからなくなるので、  
必ず「先行詞 + 関係代名詞」のセットで使います。

この「先行詞 + 関係代名詞」のカタチで、実は文をつなげるだけじゃなく、同時に**関係代名詞の後の部分が先行詞を修飾する役割**も。さっきの例文では、  
「いつも使っている」って文が、「私の赤ペン」っていう先行詞を修飾しています。



## 英語のカタチ



I lost my red pen. + I always use it.

I lost my red pen which I always use         .  
先行詞 + 関係代名詞

関係代名詞は、「先行詞 + 関係代名詞」で、  
①文をつなぎ、②名詞を修飾する 役割をする。

2つの文をつないで、先行詞を修飾する関係代名詞は、  
文をつなぎ**接続詞**と、**名詞を修飾する形容詞**の2つの役割を  
持った、「特殊連結車両」みたいなイメージです。

戻って復習!!

接続詞、形容詞  
ですか…何それ？  
って人は、**品詞**を  
まとめて復習です。

# 7. 関係代名詞

## 2. 関係代名詞のパターン

関係代名詞の役割は大丈夫？「2つの文を1つにつなぐ」、「先行詞を修飾する」その役割は同じでも、関係代名詞にはパターンがあります。



### 関係代名詞のパターン①主格

- 1) He has a friend **who**[that] lives in Mie.  
彼には三重に住んでいる友達があります。
- 2) The Pen **which**[that] is on the desk is mine.  
机の上にあるペンは、私のものです。



yen  
; 円  
roof  
; 屋根  
will buy  
⇒ 未来を表す文

関係代名詞のパターンを見分けるポイントは、2つ。

- ① **先行詞は、人がモノのどちらか。**
- ② **元の文で省略された単語は、どういう役割をしていたか。**

まずは、カンタンな①の方を、軽く説明します。  
さっきの例文では、関係代名詞に「which」を使ったけど、上の例文では「who」や「that」も使われている…  
どの関係代名詞を使うかは、ほとんど先行詞で決まります。  
**先行詞が、モノの場合は「which」、人の場合は「who」、「that」はどちらでも使えます。**

1)の文は、先行詞が「a friend」なので「who」、2)の文は、先行詞が「the pen」なので「which」、というわけ。

# 関係代名詞

次は、②の「省略された単語の役割」。

1)の文を、元の2つの文に戻してみます。

・ He has **a friend**. 彼には友達がいます。

・ **The friend** lives in Mie. その友達は三重に住んでいます。

この2つの文が合わさるとき、2つ目の文の主語になっていた「The friend」はいらないので、省略されます。こんなふうに**主語が置きかわった関係代名詞が、主格の関係代名詞**です。

**主格の関係代名詞の文では、主語が省略されているので、関係代名詞の後には、すぐに動詞が続きます。**

これが見分け方のポイントのひとつ。2)の文でも「which」の後に、be動詞の「is」が続いています。



## 7. 関係代名詞



### 関係代名詞のパターン②目的格

3) I lost my red pen (**which**[**that**]) I always use.

いつも使っている赤ペンを失くした。

4) She is a girl (**who**(**m**)[**that**]) I know well.

彼女は私がよく知っている女の子です。

同じように上の3)の文も、2つの文にしてみると...

・ I lost **my red pen**. 私は赤ペンを失くしました。

・ I always use **it**. 私はいつもそれを使っています。

この文では、「it」が省略されて、1つの文になっています。

この「it」は元々は目的語、つまり、「～を、～に」という

動作の対象の役割をしています。なので、この文は、**目的語が**

**置きかわった、目的格の関係代名詞**。

目的格のときは、先行詞が人のときに「who」以外にも

「**whom**」というのを使えます。でもちょっとカタくて、

まじめな感じになります(^\_^;)

さらにこの**目的格の関係代名詞は省略が可能**です。

目的格の関係代名詞の文では、関係代名詞の後に続く部分で目的語がなくなっています。4)の文でも「know」の目的語がありません。

# 関係代名詞



## 関係代名詞のパターン③所有格



5) He has an animal **whose** nose is red.

彼は赤い鼻を持つ動物を飼っています。

6) I will buy a house **whose** roof is yellow.

私は屋根が黄色の家を買うつもりです。

最後は所有格の関係代名詞。5)の文を2つにすると…

・ He has an **animal**. 彼は**動物**を飼っています。

・ **Its** nose is red. **その**鼻は赤いです。

ここでは、「animal」と「Its」が同じものを指しています。

この「Its」は所有格になるので、**所有格の関係代名詞**

「**whose**」を使います。

**所有格のときは、5) 6) のように先行詞が人でモ/でも**

**「whose」を使う。**間違いやすいので、注意しよう。

これで関係代名詞のパターンは終了(^0^)/

それぞれのパターンでの関係代名詞を下の表で、文をカタチで確認します。



先行詞	主格	目的格	所有格
人	who [that]	who/whom [that]	whose
モ/	which [that]		

# 7. 関係代名詞



## 英語のカタチ

### 【主格】

主語

The pen is on the desk. + It is mine.

⇒ The pen which[that] is on the desk is mine.

### 【目的格】

目的語

I lost my red pen. + I always use it.

⇒ I lost my red pen (which[that]) I always use.

### 【所有格】

所有格

He has an animal. + Its nose is red.

⇒ He has an animal whose nose is red.



# これまでのおさらい

お疲れ様でした！これでこのテキストは終了。

とはいいながらも…ここで、ちょっとだけおさらいをしてみよう。

いろんな単元を見ていく前に、まず最初の部分でこんな話をしました。

**英語では単語の順番、語順が重要！**

○ What is your favorite sport?

× Your favorite sport is what?

下の文じゃ意味が通じないの、ここまで来た人なら分かるはず。

それじゃあ、この順番は何で決まったかというところ…

そう英文の「エンジン」、動詞。この動詞の部分のキホンとして、

入門編では、キホンになる2つの動詞。be動詞と一般動詞、

そして時制の過去、進行形、未来、現在完了形を勉強しました。

応用編で新しくでてきた動詞部分(エンジン)の文法は、

実は、助動詞と受動態の2つだけだったんです。

あとは順番が決まったところに、いろんな車両をつなげていくだけ。

入門編では、車両のキホンになる名詞や、人を表す代名詞、

名詞の前につく冠詞の使い方、疑問詞や、先頭車両の主語がない命令文も登場。

応用編では、形容詞や副詞の車両を比較級に変えた比較の文、

名詞的、形容詞的、副詞的と自由に車両タイプを変える不定詞、

動詞に名詞の役割をさせる動名詞、名詞を修飾する分詞、

文を連結させて先行詞を修飾する関係代名詞は、さっきやったばかりです。

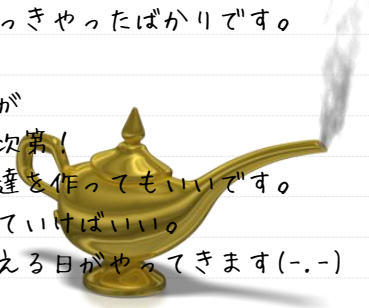
こうして見ると、ごちゃごちゃになった文法の単元が

整理されたはず。文法ができたなら…ここからはキミ次第！

後は、英語の映画を見る、音楽を聴く、外国人の友達を作ってもいいです。

いろんな単語や表現を、身につけた文法にあてはめていけばいい。

そうすれば、文法なんて気にしなくても、英語を使える日がやってきます(-.-)



# 解答編



# be動詞の文 チェック問題の答え

I am ~. / You are ~. → 問題はコチラ

- ① ( I ) ( am ) ken.      ② ( You ) ( are ) ( not ) kumi.  
③ ( Are ) ( you ) Tom's friend?      ④ ( I'm ) ( not ) from Tokyo.  
⑤ ( I ) ( am ) your teacher.

2.

- ① 疑問文 ( Are you from Canada? )  
- はい ( Yes, I am. ) / いいえ ( No, I am [I'm] not. )
- ② 疑問文 ( Are you Asuka? )  
- はい ( Yes, I am. ) / いいえ ( No, I am [I'm] not. )

This[That] is ~. → 問題はコチラ

- ① ( This ) ( is ) Masuo.      ② ( Is ) ( that ) ( your ) cat?  
③ This ( is ) ( not ) Nobita's toy.

2.

- ① ( What is this )? - ( It ) ( is ) a notebook.
- ② ( What is that )? - ( It's ) a house.

be動詞のまとめ → 問題はコチラ

- ① I ( am ) from Tennoji.      ② Job's computer ( is ) Mac.  
③ Three pigs ( are ) still two years old.  
④ ( Are ) you Taro's mother?      ⑤ He ( is ) one of my best friends.  
⑥ We ( are ) actually twins.      ⑦ This ( is ) not my cell phone.  
⑧ ( Are ) these really fruits?

2.

- ① 疑問文 ( Are you my classmate? )    否定文 ( You are not my classmate. )
- ② 疑問文 ( Is he John's brother? )    否定文 ( He is not John's brother. )
- ③ 疑問文 ( Are these my guitars? )    否定文 ( These are not my guitars. )

# 一般動詞の文 チェック問題の答え

一般動詞(I like ~.)

→問題はコチラ

1.

- ①( Do ) you ( like ) Hanako?
- ②We often ( play ) soccer together.
- ③I ( don't ) ( read ) novels.
- ④( What ) ( do ) you buy at the store?
- ⑤I ( write ) a letter to my cousin every summer.
- ⑥I ( make ) lunch on Sundays.
- ⑦We must ( do ) homework before dinner.
- ⑧My grandparents ( give ) us money every year.

2.

- ①疑問文( Do they live in Tokyo? )  
否定文( They do not [don't] live in Tokyo. )
- ②疑問文( Do you walk to school? )  
否定文( You do not [don't] walk to school. )

三人称・単数・現在形の「s」 →問題はコチラ

1.

- ①He always (sings) animation songs at karaoke.
- ②We (go) to the stadium and (play) soccer on Sundays.
- ③My family (visits) kyushu every summer.
- ④Mr. Smith (teaches) us math.      ⑤What color (does) he (like)?

2.

- ①疑問文( Does your brother go to university by bus? )  
否定文( Your brother dose not [doesn't] go to university by bus. )
- ②疑問文( Does his sister sometimes help with his homework? )  
否定文( His sister does not [doesn't] help with his homework. )
- ③疑問文( Does John enjoy movie at home? )  
否定文( John does not [doesn't] enjoy movie at home. )



# 冠詞、名詞、代名詞 チェック問題の答え

## 冠詞

→問題はコチラ

- ① many ( **x** ) notebooks たくさんの本
- ② ( **an** ) hour 1時間
- ③ ( **the** ) earth 地球
- ④ on ( **x** ) Sunday 日曜日
- ⑤ ( **a** ) notebook ノート
- ⑥ after ( **x** ) school

## 名詞の複数形

→問題はコチラ

1.

- ① The book store has a lot of (**dictionaries**).
- ② Many (**children**) are playing in the park.
- ③ Japanese (**women**) are beautiful.
- ④ I drink two (**cups**) of (**coffee**) every day.
- ⑤ How much (**money**) do you have now?

## 人を表す代名詞

→問題はコチラ

- ① All students in (**our**) school walk to school.
- ② (**His**) favorite book is "The Old Man and the Sea".
- ③ (**They**) live near Kyoto station.
- ④ A cute girl is looking at (**me**).
- ⑤ Mom, the chocolate is (**mine**).
- ⑥ Takeshi may like (**her**) too.
- ⑦ When is (**your**) birthday?
- ⑧ Mr. Takeda gives (**us**) a lot of homework.
- ⑨ The tower is very high. (**Its**) height is over 600 meters.
- ⑩ Please throw (**them**) away now!

# 疑問詞、命令文 チェック問題の答え

## 疑問詞、命令文

→問題はコチラ

1.

①( **Where** ) are you from?

- I'm from Los Angeles.

②( **How** ) is the weather in Osaka?

- It rained in the morning, but it's fine now.

③( **What** ) is your favorite movie?

- My favorite movie is "Hurry Potter".

④( **When** ) dose your class start?

- Our class starts at nine.

⑤( **Why** ) is John absent from school?

- Because he is sick.

3.

①( **Don't** )( **take** ) pictures here.

②( **Let's** )( **go** ) to the party.

③( **Be** ) kind to old people.

# 過去形の文 チェック問題の答え

## be動詞の過去形

→問題はコチラ

1.

① You ( were ) absent from school yesterday.

② Yoshio ( was ) popular a long time ago.

③ They ( were ) just stones.

2.

① 疑問文 ( Was he good at swimming? )

否定文 ( He was not [wasn't] good at swimming. )

② 疑問文 ( Were they pure when they were kids? )

否定文 ( They were not [weren't] pure when they were kids. )

## 一般動詞の過去形

→問題はコチラ

1.

① I ( washed ) some dishes yesterday.

② Bob ( studied ) Japanese last summer.

③ Tatsuya ( rent ) CDs last week.

④ I ( ran ) fast 10 years ago.

⑤ He ( ate ) some takoyakis yesterday.

2.

① 疑問文 ( Did you want a new bike? )

否定文 ( You did not [didn't] want a new bike. )

② 疑問文 ( Did he play soccer last Wednesday? )

否定文 ( He did not [didn't] play soccer last Wednesday. )

# 進行形 未来の文 チェック問題の答え

## 進行形

→問題はコチラ

1.

- ① I **am using** PC now.
- ② My brother **was sleeping** then.
- ③ We **were** students 10 years ago.
- ④ He **likes** baseball.
- ⑤ When I came home, a strange man **was sitting** on the chair.

2.

- ① 疑問文( **Are you walking to the station now?** )  
否定文( **You are not walking to the station.** )
- ② 疑問文( **Was he searching funny videos on YouTube?** )  
否定文( **He was not searching funny videos on YouTube.** )

## 未来の文

→問題はコチラ

1.

- ① I **will go** to school by bus tomorrow.  
I **am going to go** to school by bus tomorrow.
- ② The musician **will not [won't]** visit Osaka next month.  
The musician **is not going to** visit Osaka next month.
- ③ They **will be** high school student on April.  
They **are going to be** high school student on April.
- ④ **Will you practice** soccer next weekend?  
**Are you going to practice** soccer next weekend?

2.

- ① 疑問文( **Will they have a dinner at the restaurant?** )  
否定文( **They will not [won't]** have a dinner at the restaurant. )
- ② 疑問文( **Is the plane going to leave at nine o'clock?** )  
否定文( **The plane is not going to leave at nine o'clock.** )

# 現在完了形 チェック問題の答え

現在完了形

→問題はコチラ

1.

- ①彼は一度も東京に行ったことはありません。
- ②彼らはすでに家を出ました。
- ③あなたはどれくらいの間日本にいるんですか。
- ④もう宿題は終わったんですか。
- ⑤このアトラクションを試した(乗った)ことがありますか。

2.

- ①I ( **went** ) to the U.S. two years ago.
- ②My mother ( **is cooking** ) at the kitchen now.
- ③He usually ( **listens** ) to rock music.
- ④They ( **will visit** または **are going to visit** ) Hiroshima next month.
- ⑤Tom ( **was watching** ) TV when I ( **came** ) home.
- ⑥I ( **have lived** ) in Nara for three years.

# 助動詞 受動態 チェック問題の答え

## 助動詞

→問題はコチラ

1.

- ① I ( will ) go to bed early tonight.
- ② ( Will (Can) ) ( you ) tell me her e-mail address?
- ③ Ichiro ( can ) speak English well.
- ④ ( Can (May) ) I eat this chocolate?
- ⑤ You ( must ) ( not ) be late.  
= ( Don't ) be late.
- ⑥ You ( don't ) ( have ) ( to ) come here.
- ⑦ He ( must ) ( like ) me.
- ⑧ It ( may ) rain tomorrow.
- ⑨ ( Shall ) we take a rest?  
= ( Let's ) take a rest.
- ⑩ You ( should ) see the movie.

## 受動態

→問題はコチラ

1.

- ① ( He ) ( was ) ( seen ) by me yesterday.
- ② I will ( be ) ( laughed ) ( at ) by Bob.
- ③ I was ( given ) ( this ) ( present ) by you.  
This present was ( given ) ( me ) by you.

2.

- ① My mother's wallet was stolen by a stranger.
- ② English is spoken all over the world.
- ③ The book must be lent for some time.

# 比較 不定詞 動名詞 チェック問題の答え

## 比較

→問題はコチラ

1.
  - ① Bob is ( taller ) ( than ) Mike.
  - ② Sachiko is ( the ) ( cutest ) ( of ) our classmates.
  - ③ Taro practiced ( the ) ( hardest ) ( in ) the basketball club.
  - ④ This is ( the ) ( most ) ( important ) thing.
  - ⑤ She was ill yesterday, but she is ( worse ) today.
  - ⑥ This new TV drama is ( more ) ( interesting ) than the last one.
  - ⑦ This chocolate is ( as ) ( sweet ) ( as ) that candy.
  - ⑧ Masashi can't play basketball ( as ) ( well ) ( as ) Mr. Jordan.

## 不定詞

→問題はコチラ

1.
  - ① ( To ) ( use ) the Internet is interesting.
  - ② Nobio's hobby is ( to ) ( sleep ).
  - ③ Shizuko ( wants ) ( to ) take a bath.
2.
  - ① Do you have ( anything to say )?
  - ② Please give me ( something cold to drink ).
  - ③ He ( studied English to go to ) Australia.
  - ④ I ( was very sad to hear ) such a word.

## 動名詞

→問題はコチラ

1.
  - ① ( Breaking ) the door is easy.  
= ( To ) ( break ) the door is easy.
  - ② Hikaru likes ( playing ) chess.  
= Hikaru likes ( to ) ( play ) chess.
  - ③ ( Seeing ) is believing.  
= ( To ) ( see ) is to believe.
  - ④ He began ( practicing ) judo.  
= He began ( to ) ( practice ) judo.

# 分詞 チェック問題の答え

## 分詞

→問題はコチラ

1.

- ① We know that ( **dancing** ) girl.
- ② I am looking for the ( **stolen** ) money.
- ③ Do you know that ( **walking** ) woman?
- ④ Mr. Bando likes ( **boiled** ) eggs.
- ⑤ Look at the girl ( **sitting** ) on the bench.
- ⑥ I have a camera ( **made** ) in Japan.

2.

- ① This is ( **the picture painted by Hiroshige** ).  
訳( **これはヒロシゲによって描かれた絵です。** )
- ② Can you see ( **a little crying girl** )?  
訳( **小さい、泣いている女の子が見えますか。** )
- ③ I have seen ( **the cute girl standing over there** ).  
訳( **私は向こうに立っているかわいい女の子を見たことがある。** )

3.

- ① There is a ( **injured** )( **dog** ) in the park.
- ② He likes that ( **girl** )( **singing** )( **a** )( **song** ).
- ③ Ken received the ( **present** )( **selected** ) by Takashi.



# 関係代名詞 チェック問題の答え

## 関係代名詞

→問題はコチラ

1.

- ① I saw a woman ( **who** ) was walking.
- ② He has a dog ( **which** ) runs very fast.
- ③ The movie ( **which** ) I saw yesterday is fun.
- ④ He is the man ( **whom** ) I met yesterday.
- ⑤ Is she the girl ( **whose** ) mother is a doctor?

2.

- ① ( **This is a boy who(m)(that) I met two days ago** ).
- ② ( **I have a dog which(that) likes running** ).
- ③ ( **Nobita has a friend whose parents are rich** ).
- ④ ( **This is a letter which(that) she wrote yesterday** ).

3.

- ① ( **The man who is playing the guitar** ) is Tom.  
訳( **ギターを弾いている男の人はトムです。** )
- ② I tried to read ( **a book which is written in English** ).  
訳( **私は英語で書かれている本を読むのに挑戦しました。** )
- ③ I know the teacher ( **whom everyone likes** ).  
訳( **私はみんなから好かれているその先生を知っています。** )